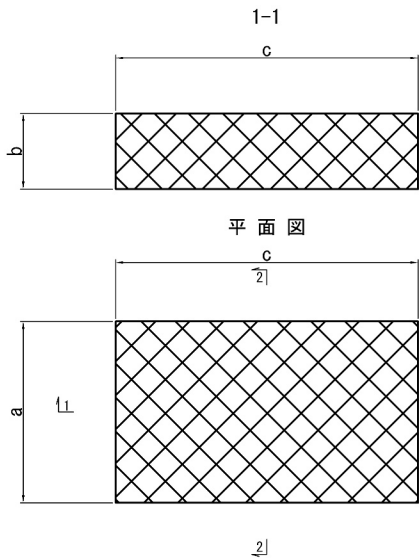


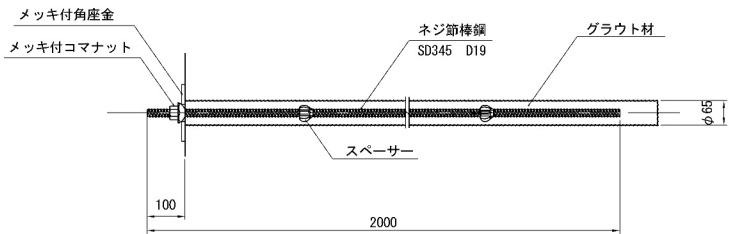
撤去工詳細図(1)

ふとんかご工a-b-c S=1:50

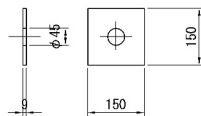


寸法表				
種別	項目	a	b	c
1.2-0.5-2.0		1200	500	2000
		1200	500	1000
1.8-0.5-2.0		1800	500	2000
		1800	500	1000

切土補強土工 D 縮尺 1:20  
補強材挿入工図

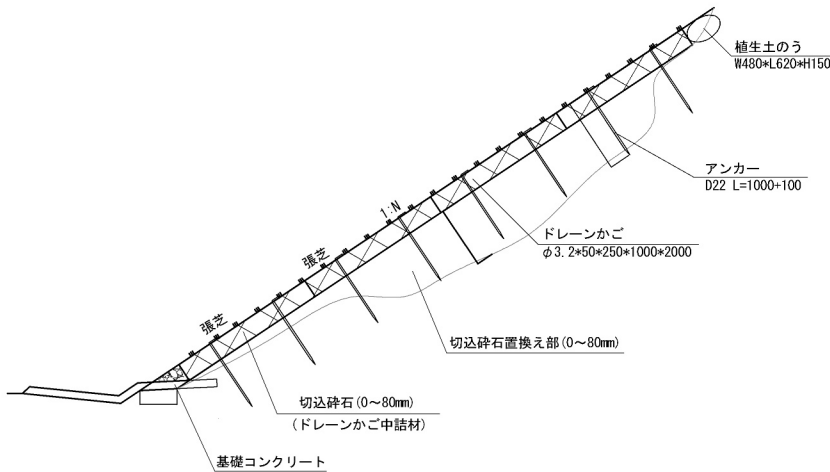


メッキ付角座金  
(溶融亜鉛メッキ HDZ55)



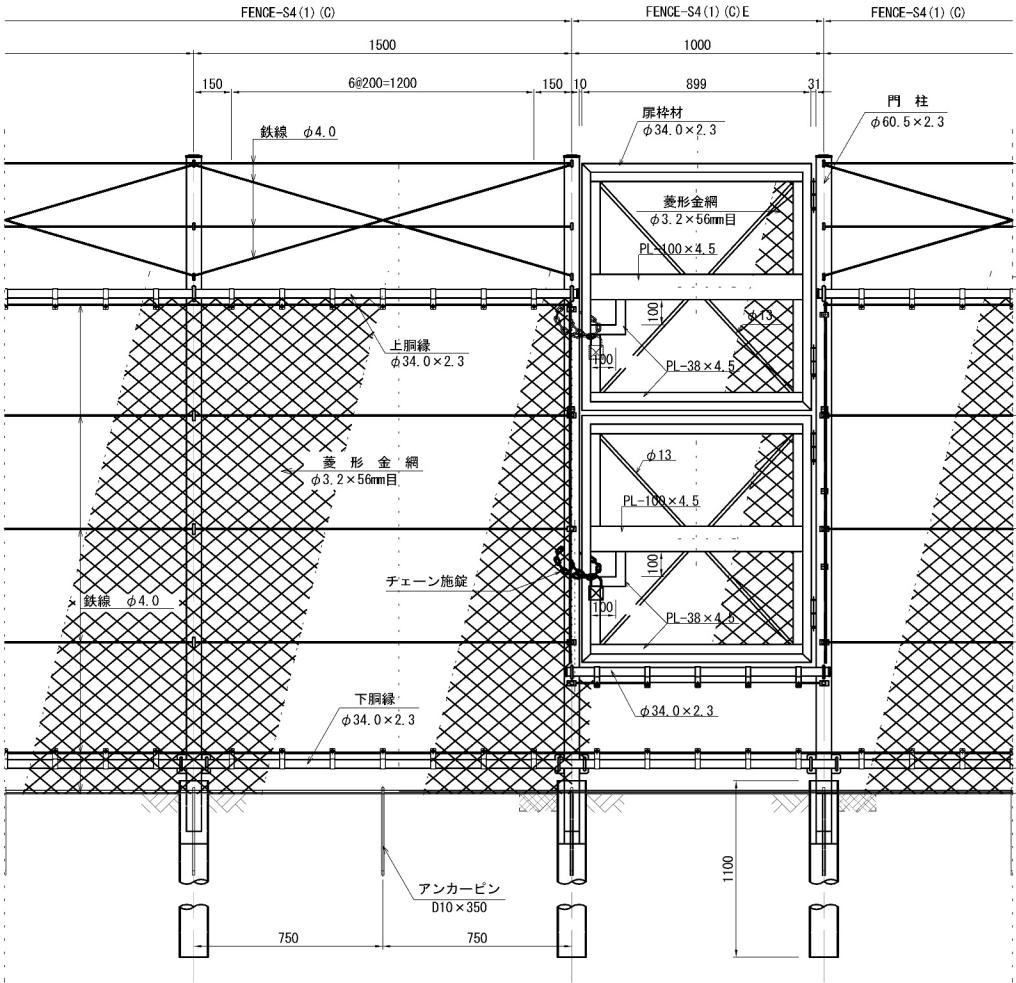
数量表			
種別	区分	補強材	摘要
		D19 kg	
切土補強土工 D		22.5	

ドレーンかご A 縮尺 1:100

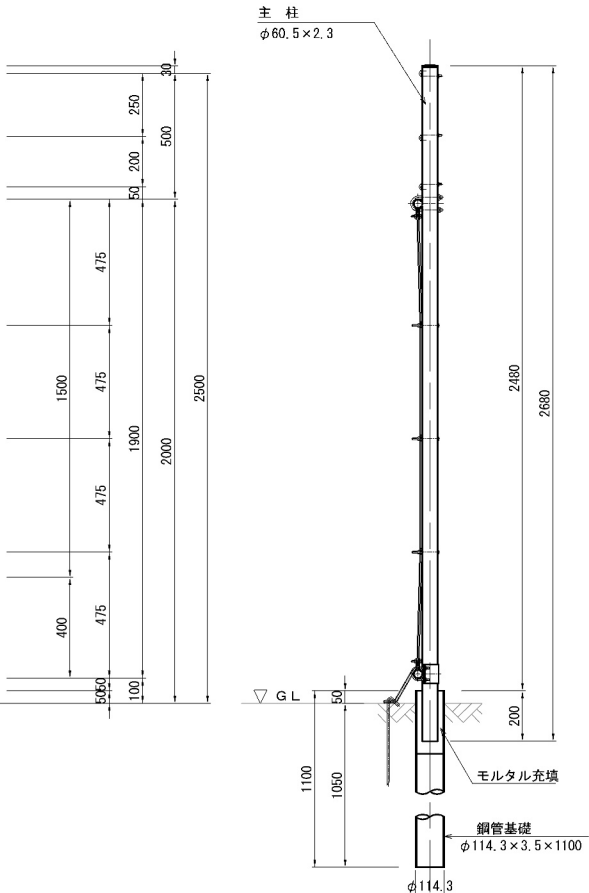


立入防止柵 S4(1)(C)  
立入防止柵出入口 S4(1)(C) 縮尺 1:30

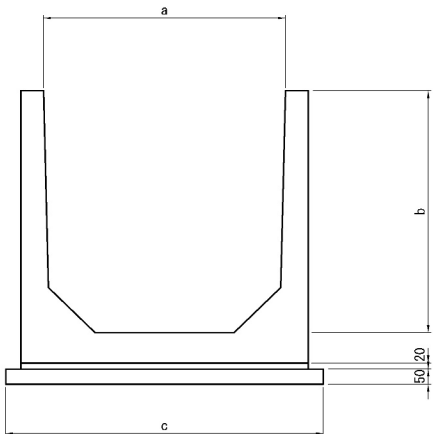
正面図



側面図



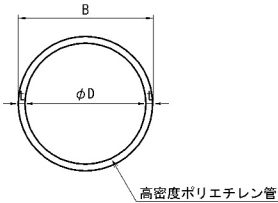
Ds-PuL(A)-a-b 縮尺 1:25



寸 法 表				
種 別	項 目	寸 法 (mm)		
		a	b	c
Ds-PuL (A)-0.70-0.70		700	700	950
		800	800	1050
Ds-PuL (A)-1.10-1.10		1100	1100	1390

数量表			
種別	項目	構造物掘削	摘要
		普通部 m <sup>3</sup>	
Ds-PuL(A)-0.70-0.70	6.44	5	2m/個, 925kg/個
	7.09	5	2m/個, 1000kg/個
Ds-PuL(A)-1.10-1.10	11.80	5	2m/個, 1500kg/個

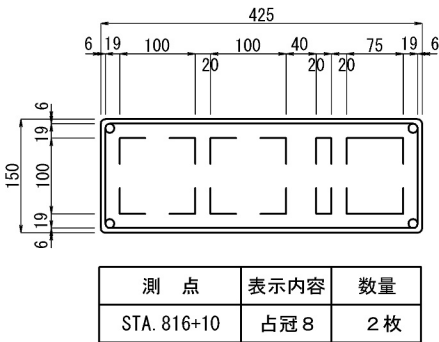
Dv-P(Cor)-φD 縮尺 1:25



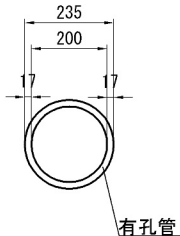
寸 法 表

種 別	項 目	寸 法 (mm)		
		D	t	B
Dv-P (Cor) - $\phi 0.20$	200	17	234	
	300	23	346	
	500	41	582	

カルバート番号板 S=1:10



Du-P(Po)-φ0.20 S=1:20



道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	撤去工詳細図(1)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工事事務所		

1.170

4.170

1.500以下

手摺支柱  
φ 60.5mm × 2.3 × 1500

再生プラスチック階段 W=600

ステンレスサリ φ 5mm

基礎鋼管 φ14.3 × 3.5 × 800

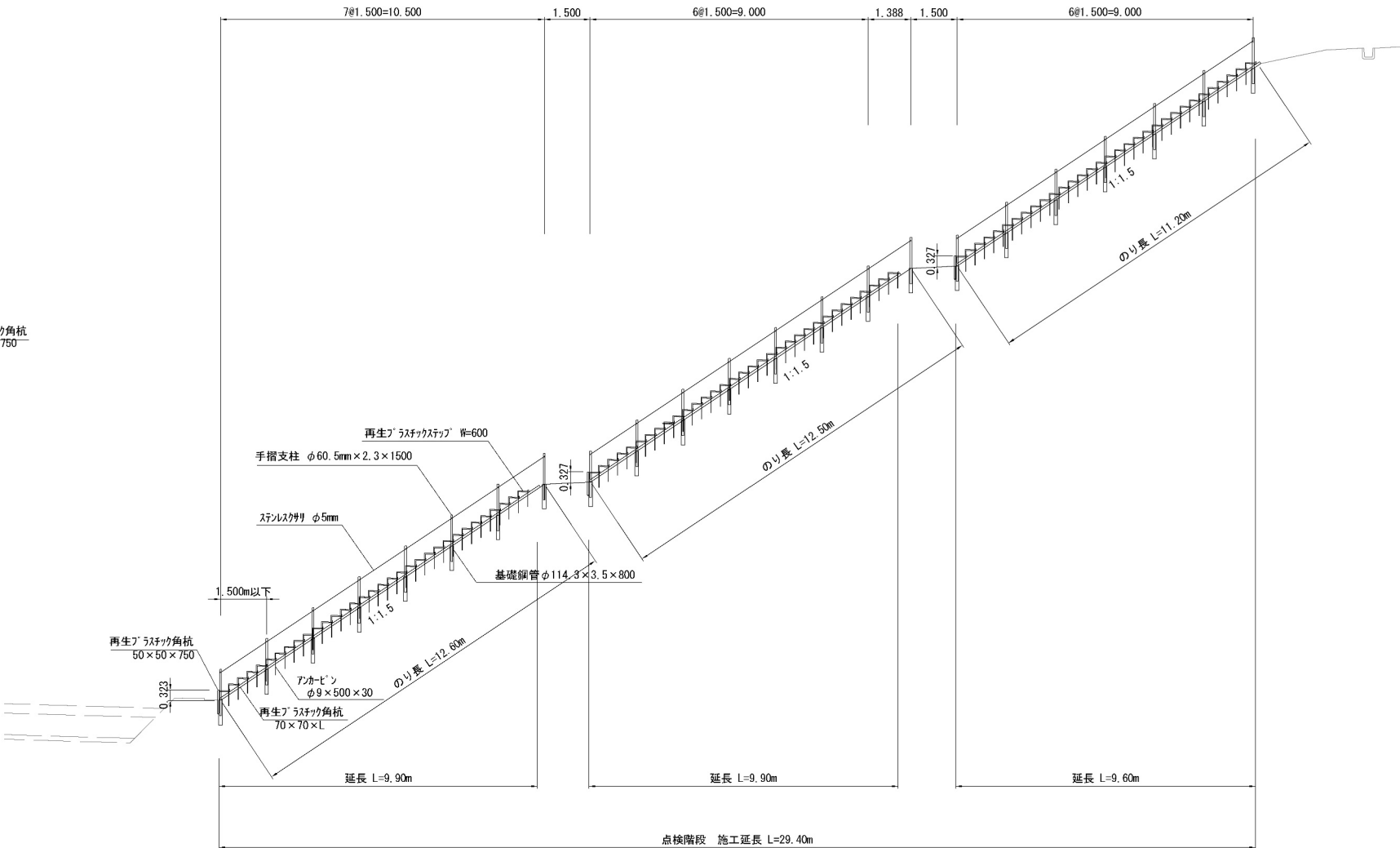
1:1.80

アンカー・ピン  
φ 9 × 500 × 30

再生プラスチック角杭  
50 × 50 × 750

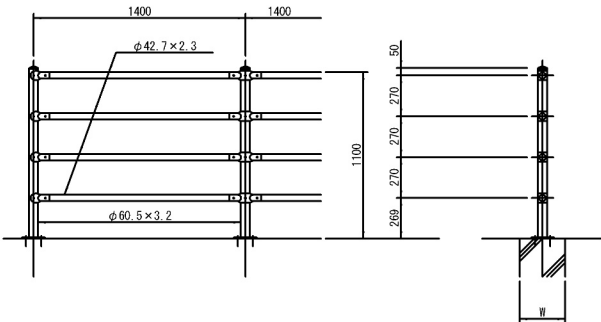
のり長 L=8.20m

点検階段 施工延長 L=6.90m

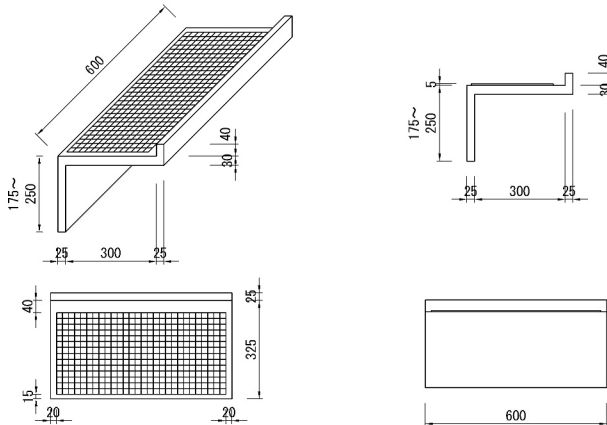
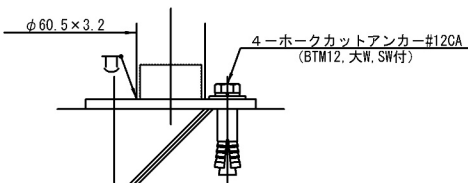
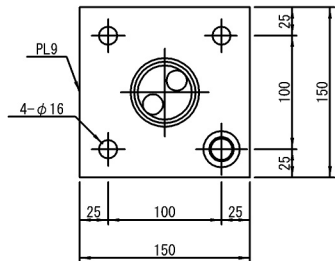


角杭詳細図 縮尺 1 : 25

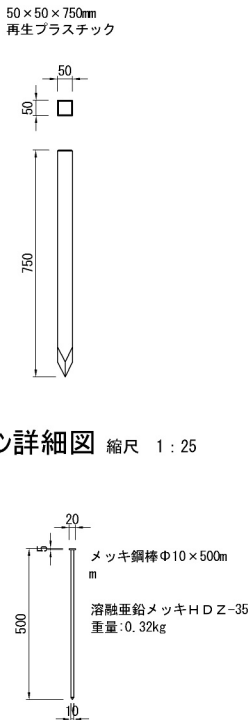
転落防止柵



### 柱脚部取付図



アンカーピ<sup>○</sup>ン詳細図 縮尺 1:25

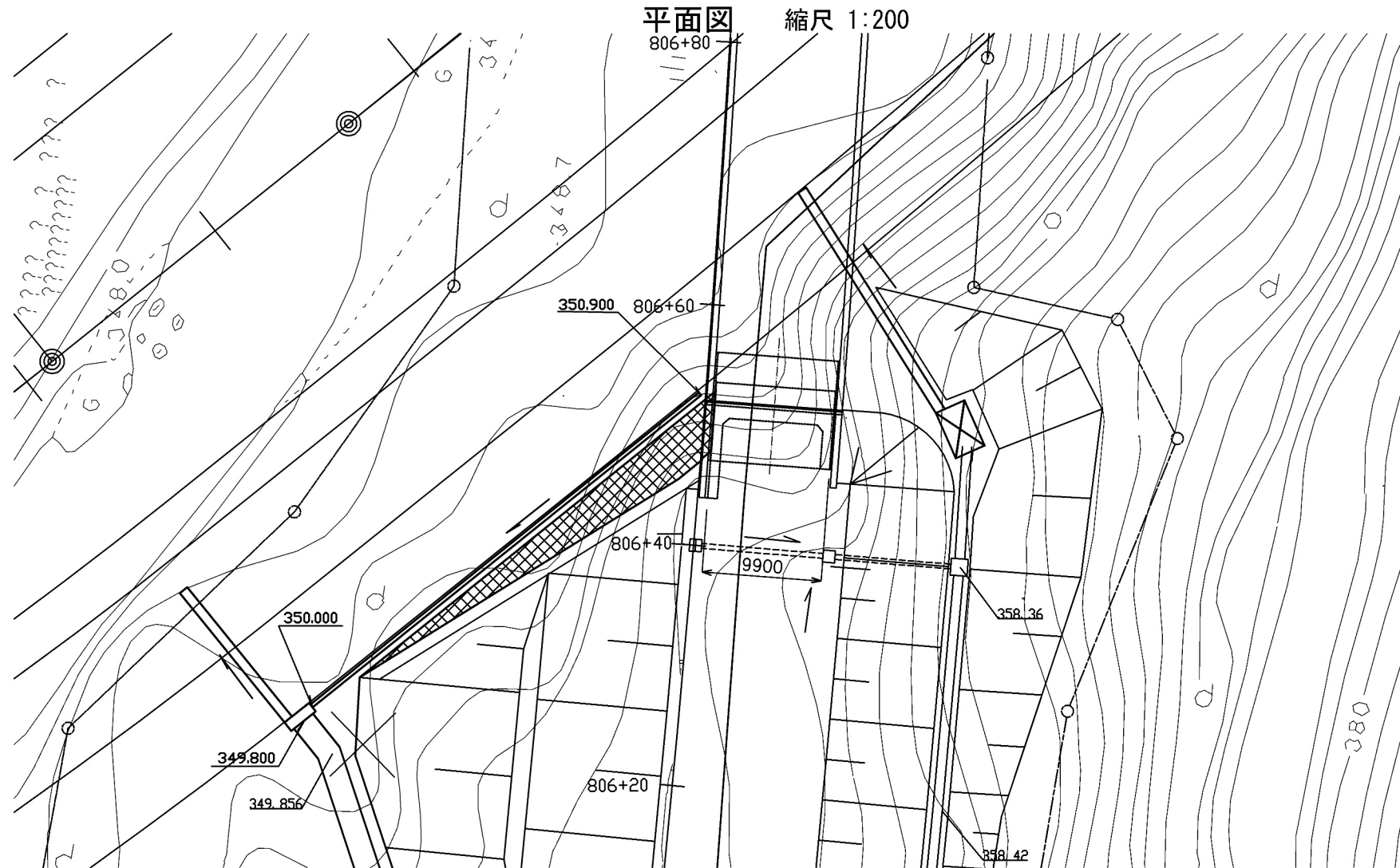


道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工詳細図(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		



# 撤去工 詳細図 (3)

本流鵜川第一橋 A 1 補強土壁



① 数量表 L 側				
凡例	項目	単位	数量	
	補強土工	斜比面積 (1.044)	m <sup>2</sup>	347.05
	法面壁面材	H=600mm, (3分)	基	477
	天端壁面材	H=300mm, (3分)	基	0
	ジオグリッド (主補強材)	TD= 20kN/m G-35	m <sup>2</sup>	0
		TD= 28kN/m G-50	m <sup>2</sup>	80
		TD= 35kN/m G-60	m <sup>2</sup>	427
		TD= 48kN/m G-80	m <sup>2</sup>	230
		TD= 59kN/m G-100	m <sup>2</sup>	376
		TD= 70kN/m G-120	m <sup>2</sup>	946
		TD= 87kN/m G-150	m <sup>2</sup>	403
	補助補強材	TA= 15kN/m 以上 UC-20	m <sup>2</sup>	352
	水平排水材	t=7mm, W=300mm	m	336
	ラッセルネット	RN-R-103	m <sup>2</sup>	541
	吸出し防止材	FB0-10 (t=10mm)	m <sup>2</sup>	428
	撤去工	撤去土	m <sup>2</sup>	1049.0
		基礎部	m <sup>2</sup>	0

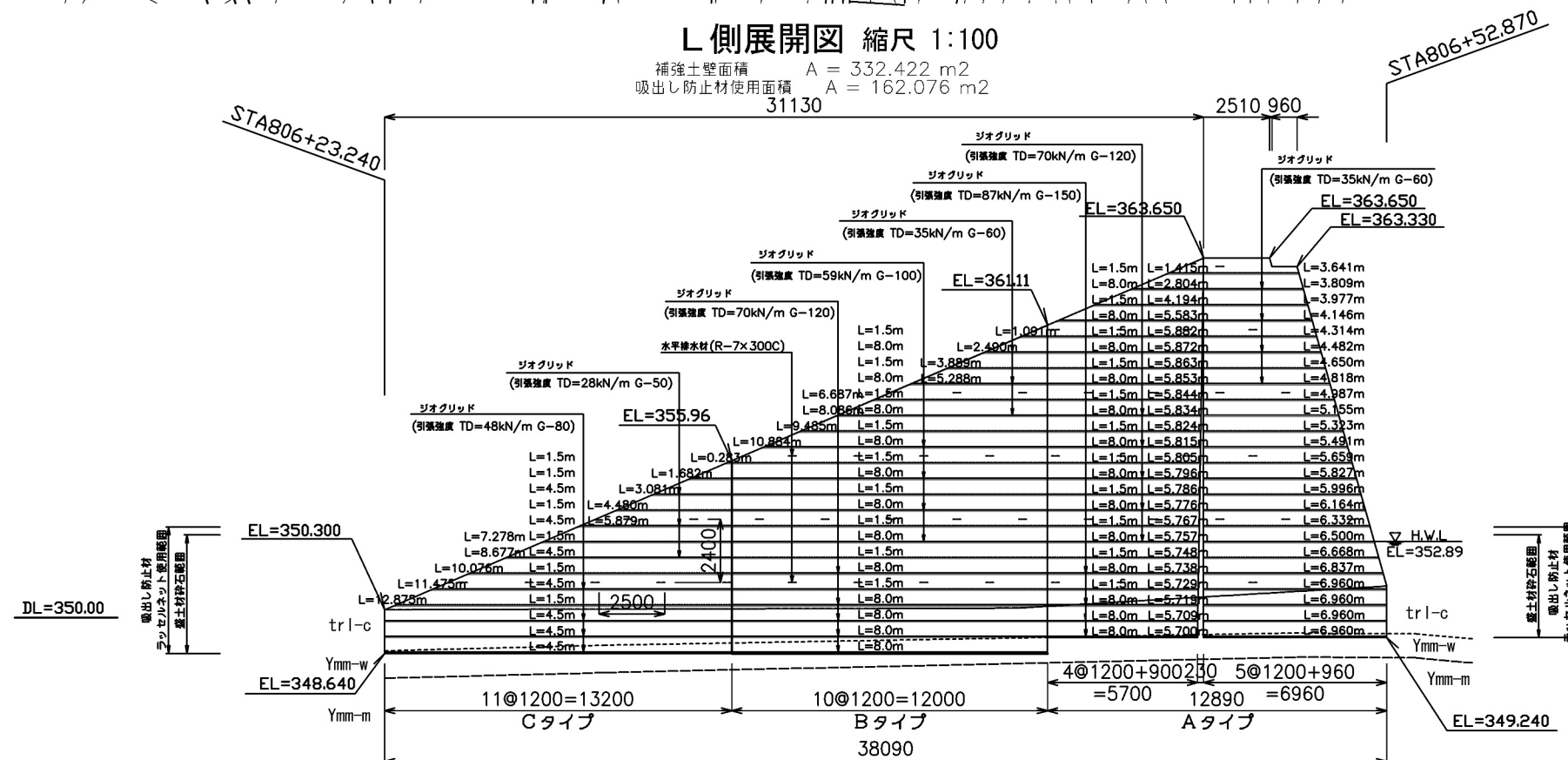
① 設計資料	
補強土壁高さ	Hmax=14.40 m (3分勾配)
盛土材の性質	土の単位体積重量 $\gamma = 20.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内部摩擦角 $\phi = 35.0^\circ$
	土の粘着力 $c = 0.0 \text{ kN/m}^2$
水平露度	kH= 0.14
容 重	SW= 6.000 kN/m <sup>3</sup>
ジオグリッドの 境界引張強度	G-35 TD=20.0kN/m
	G-50 TD=28.0kN/m
	G-60 TD=35.0kN/m
	G-80 TD=48.0kN/m
	G-100 TD=59.0kN/m
	G-120 TD=70.0kN/m
壁面材	法面ユニット UCL= h= 60cm
	天端ユニット UCL= h= 30cm
盛土メッキコーディング	q1 = 275.590 kN/m <sup>2</sup>
ジオグリッド必要支持力	q2 = kN/m <sup>2</sup>

\* 工事開始前に盛土材の室内試験より確認する事  
\* 上記図様に補強土壁の地震反力と床地盤の判定を

① 撤去工盛土材	
タイプ	数量 (m <sup>2</sup> )
Aタイプ	26.616
Bタイプ	22.350
Cタイプ	54.000

## L 側展開図 縮尺 1:100

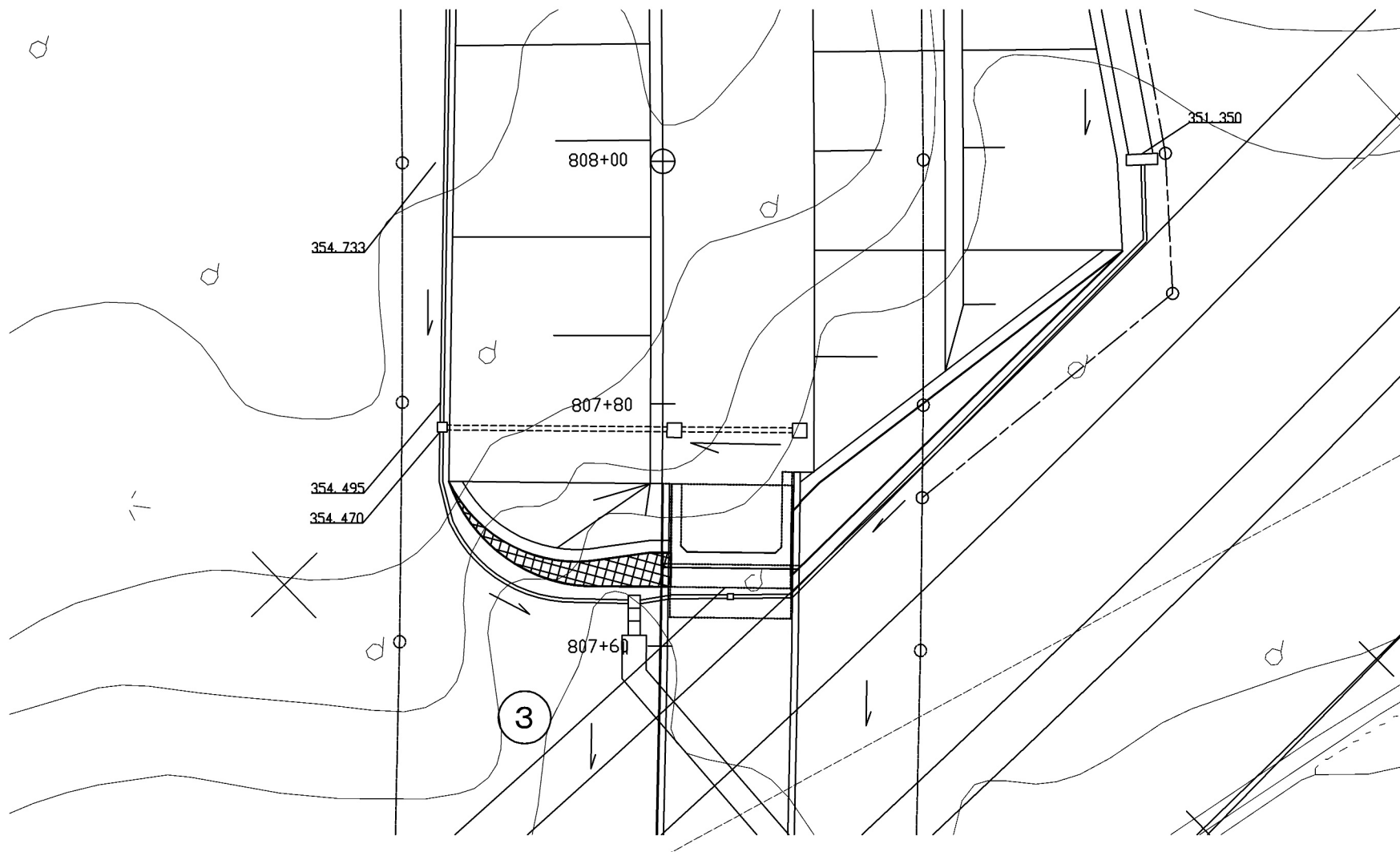
補強土壁面積 A = 332.422 m<sup>2</sup>  
吸出し防止材使用面積 A = 162.076 m<sup>2</sup>



道東自動車道 占冠PA工事	
図面の種類	撤去工 詳細図 (3)
縮 尺	図 示 図面番号 -
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所

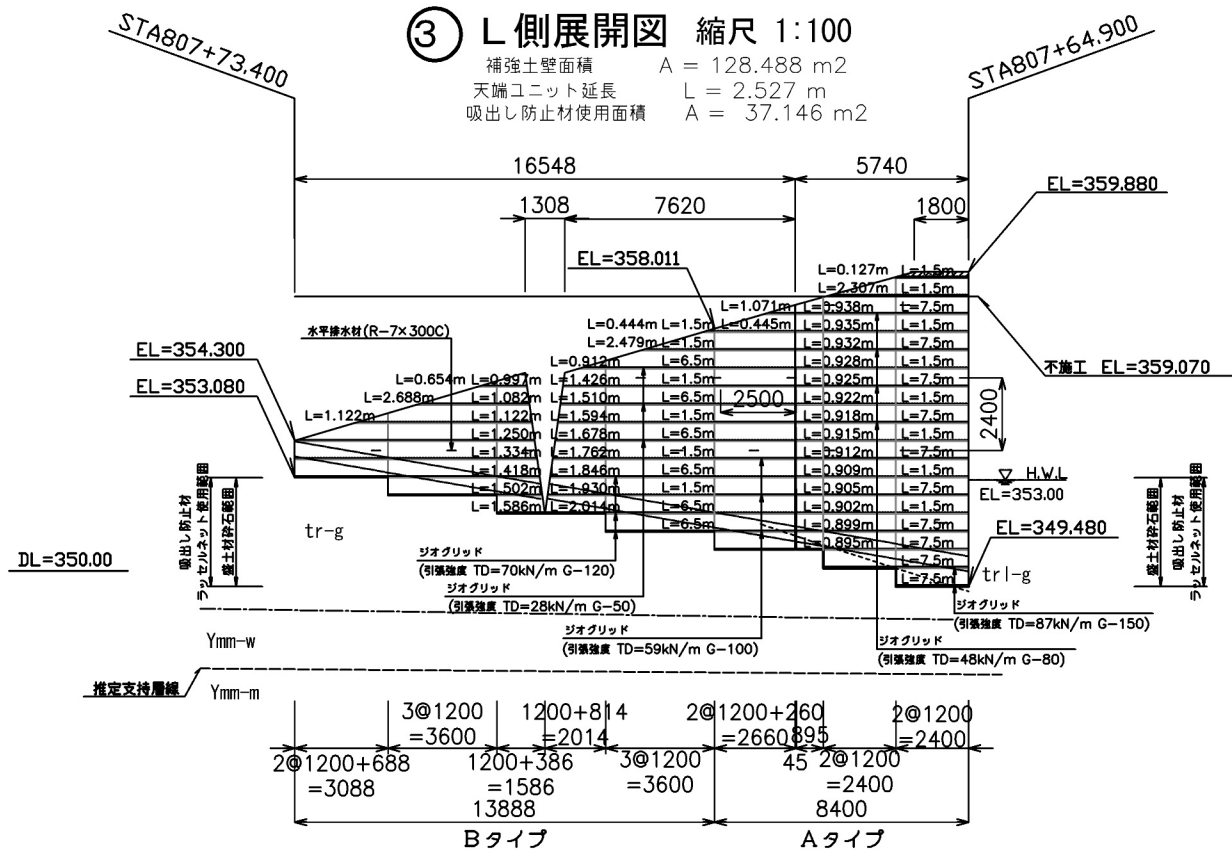
撤去工 詳細図 (4)  
本流鵜川第一橋 A2 補強土壁

平面図 縮尺 1:200



③ L側展開図 縮尺 1:100

補強土壁面積 A = 128.488 m<sup>2</sup>  
天端ユニット延長 L = 2.527 m  
吸出し防止材使用面積 A = 37.146 m<sup>2</sup>

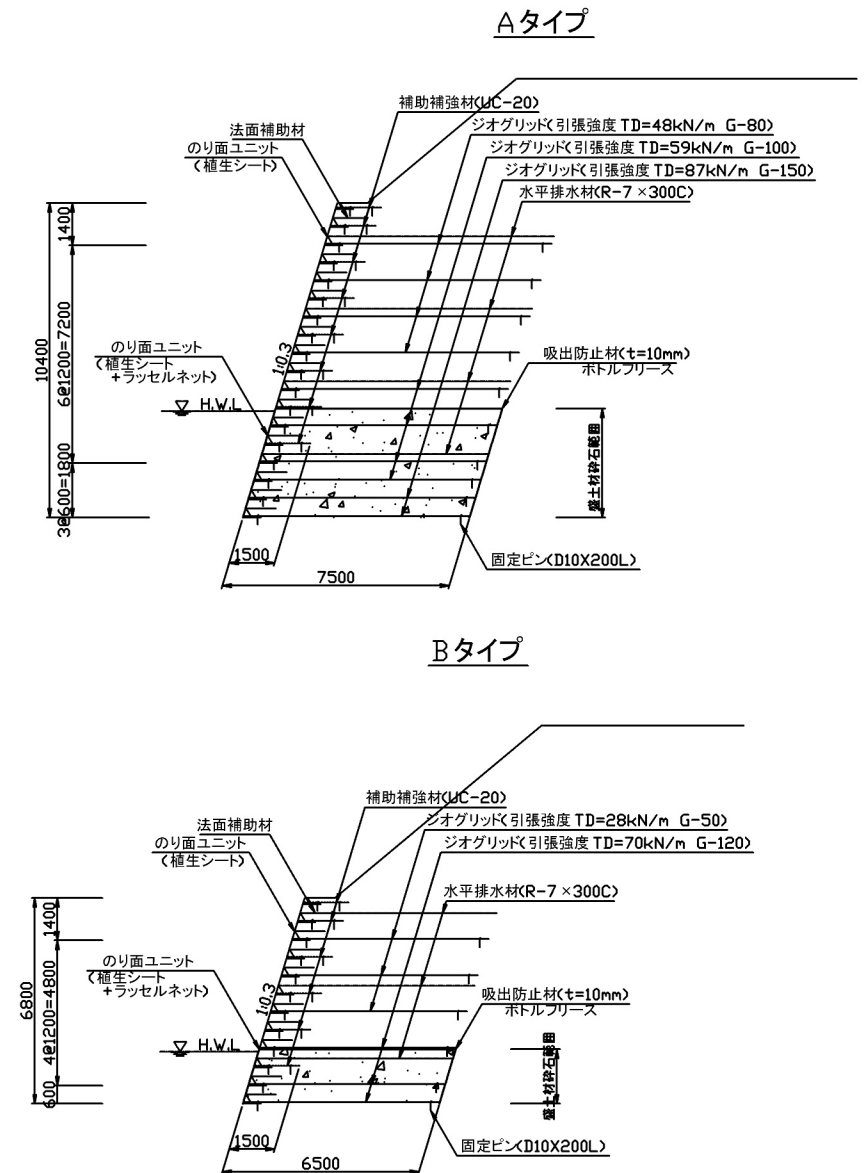







⑤ 設計資料	
補強土壁高さ	Hmax=10.40 m (3分毎配)
擁土材の性質 (H.W.L以上)	土の単位体積重量 $\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内部摩擦角 $\phi = 25.0^\circ$
	土の粘着力 $c = 15.0 \text{ kN/m}^2$
	土の単位体積重量 $\gamma = 20.0 \text{ kN/m}^3$
擁土材の性質 (H.W.L以下)	土の内部摩擦角 $\phi = 35.0^\circ$
	土の粘着力 $c = 0.0 \text{ kN/m}^2$
水平摩擦	$kH = 0.14$
容重	$SW = 6.000 \text{ kN/m}^3$
ジオグリッドの 限界引張強度	G-35 TD=20.0kN/m
	G-50 TD=28.0kN/m
	G-60 TD=35.0kN/m
	G-80 TD=48.0kN/m
	G-100 TD=59.0kN/m
	G-120 TD=70.0kN/m
	G-150 TD=87.0kN/m
	天端ユニット UCL = h = 60cm
面材	天端ユニット UCL = h = 30cm
面材メッキコーティング	q1 = 238.439 kN/m <sup>2</sup>
ジオグリッド必要支持力	q2 = kN/m <sup>2</sup>

\* 工事開始前に盛土材の室内試験より確認する事  
\* 上記図様に補強土壁の地盤反力と床地盤の判定を

補強土工標準断面図

L側標準断面図 縮尺 1:100



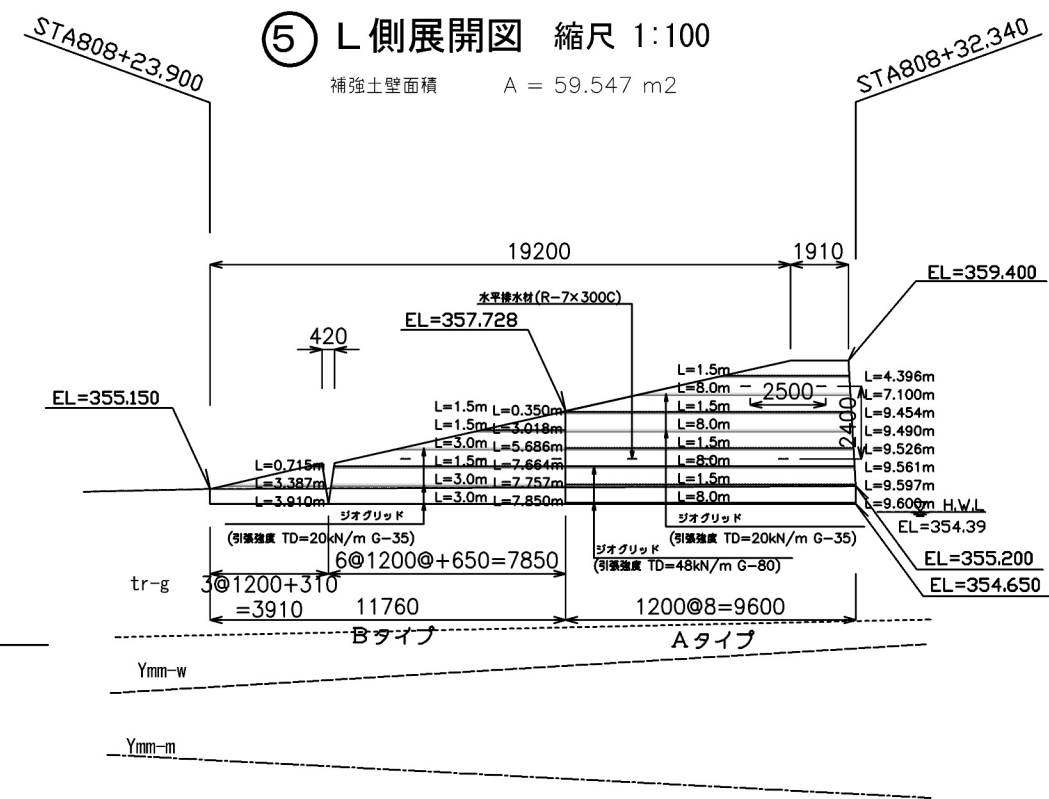
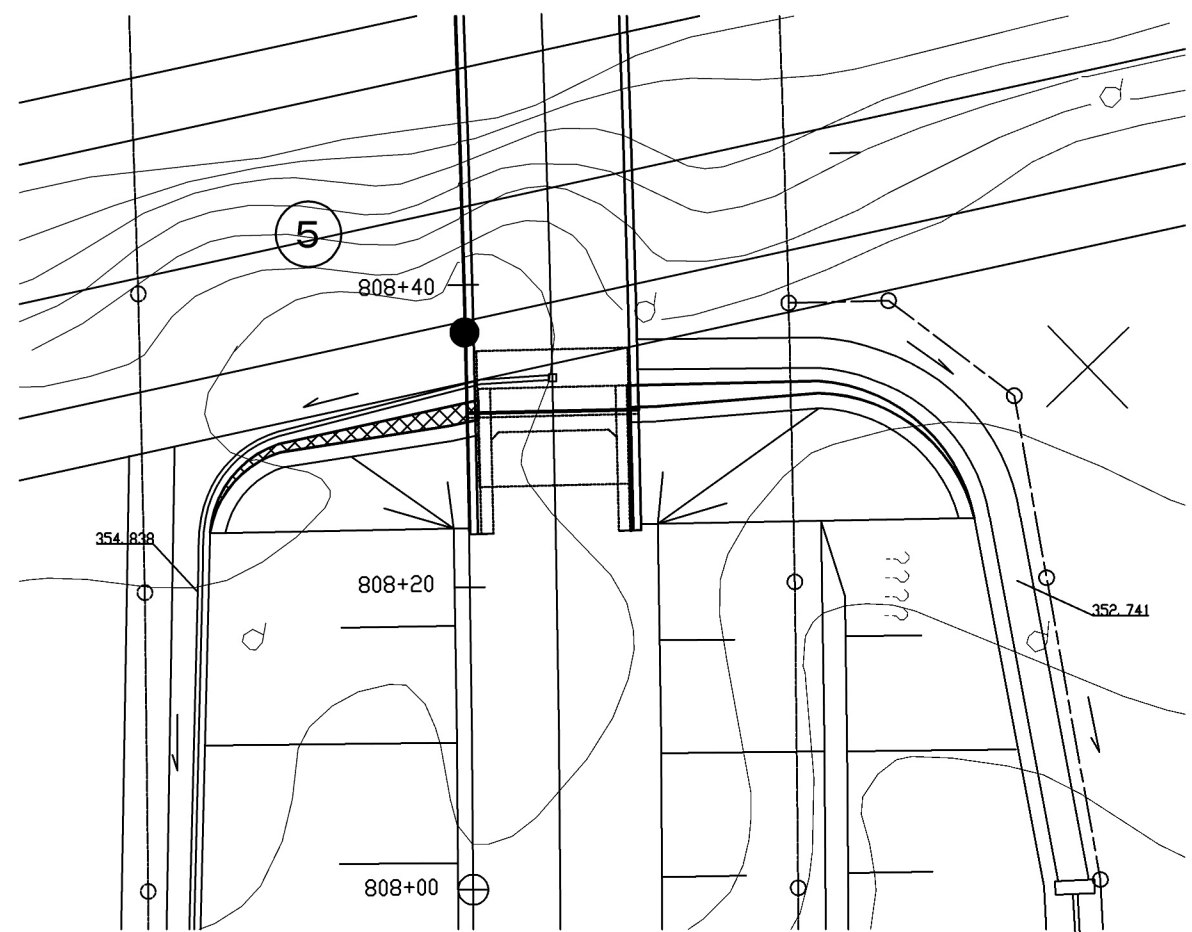
③ 数量表 L 側				
凡 例	項 目	規 則	単位	数量
	補強土工	斜出面積 (1.044)	m <sup>2</sup>	134.15
	法面壁面材	H=600mm, (3分)	巻	18
	天端壁面材	H=300mm, (3分)	巻	
 ジオグリッド (主補強材)	TD= 20KN/m G-35	m <sup>2</sup>		
	TD= 28KN/m G-50	m <sup>2</sup>	17	
	TD= 35KN/m G-60	m <sup>2</sup>		
	TD= 48KN/m G-80	m <sup>2</sup>	24	
	TD= 59KN/m G-100	m <sup>2</sup>	25	
	TD= 70KN/m G-120	m <sup>2</sup>	18	
	補助補強材	TA= 15KN/m 以上 UC-20	m <sup>2</sup>	5
	水平排水材	t=7mm, W=300mm	m	12
	ラッセルネット	RN-R-103	m	12
	吸出し防止材	FBO-10(t=10mm)	m <sup>2</sup>	19
	撤去工	盛土部	m <sup>2</sup>	266.
		掘削部	m <sup>2</sup>	

③ 置換工盛土材		
		数量 (m³)
Aタイプ	1	18.0
	2	6.3
Bタイプ	1	8.8
	2	3.9

道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (4)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

撤去工 詳細図 (5)  
本流鵜川第二橋 A 1 L 側 補強土壁

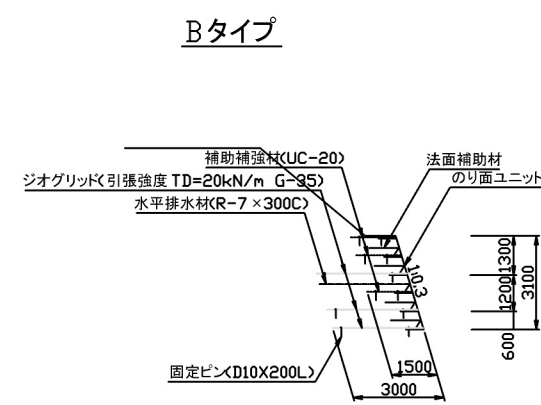
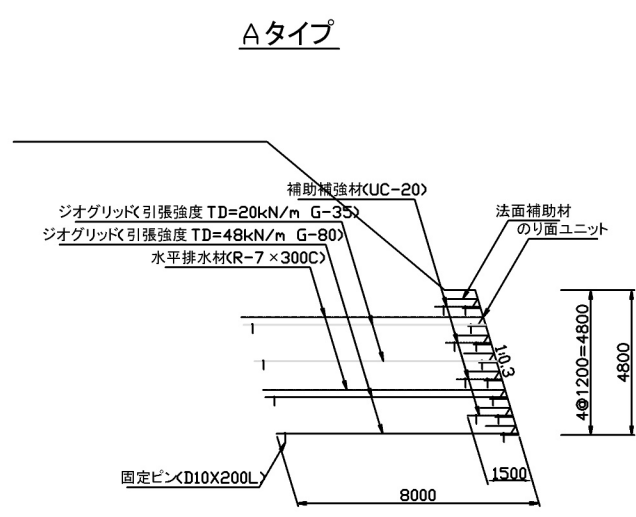
平面図 縮尺 1:200



DL=350.00

補強土壁工標準断面図

L側標準断面図 縮尺 1:100



⑤ 設計資料

補強土壁高さ	Hmax= 4.75 m (3分勾配)
土の単位体積重量	$\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$
土の内摩擦角	$\phi = 25.0^\circ$
土の粘着力	$c = 15.0 \text{ kN/m}^2$
土の単位体積重量	$\gamma = 20.0 \text{ kN/m}^3$
土の内摩擦角	$\phi = 35.0^\circ$
土の粘着力	$c = 0.0 \text{ kN/m}^2$
水平圧度	kH= 0.14
雪 荷 重	SW= 6.000 kN/m <sup>2</sup>
ジオグリッドの 層別引張強度	G-35 TD=20.0kN/m G-50 TD=28.0kN/m G-80 TD=35.0kN/m G-100 TD=48.0kN/m G-120 TD=59.0kN/m G-150 TD=70.0kN/m G-150 TD=87.0kN/m
壁面材	法面ユニット UCL= h= 60cm
面鉛メッキコーティング	天端ユニット UCL= h= 30cm
ジオグリッド必要支持力	q1 = 157.259 kN/m <sup>2</sup> q2 = kN/m <sup>2</sup>

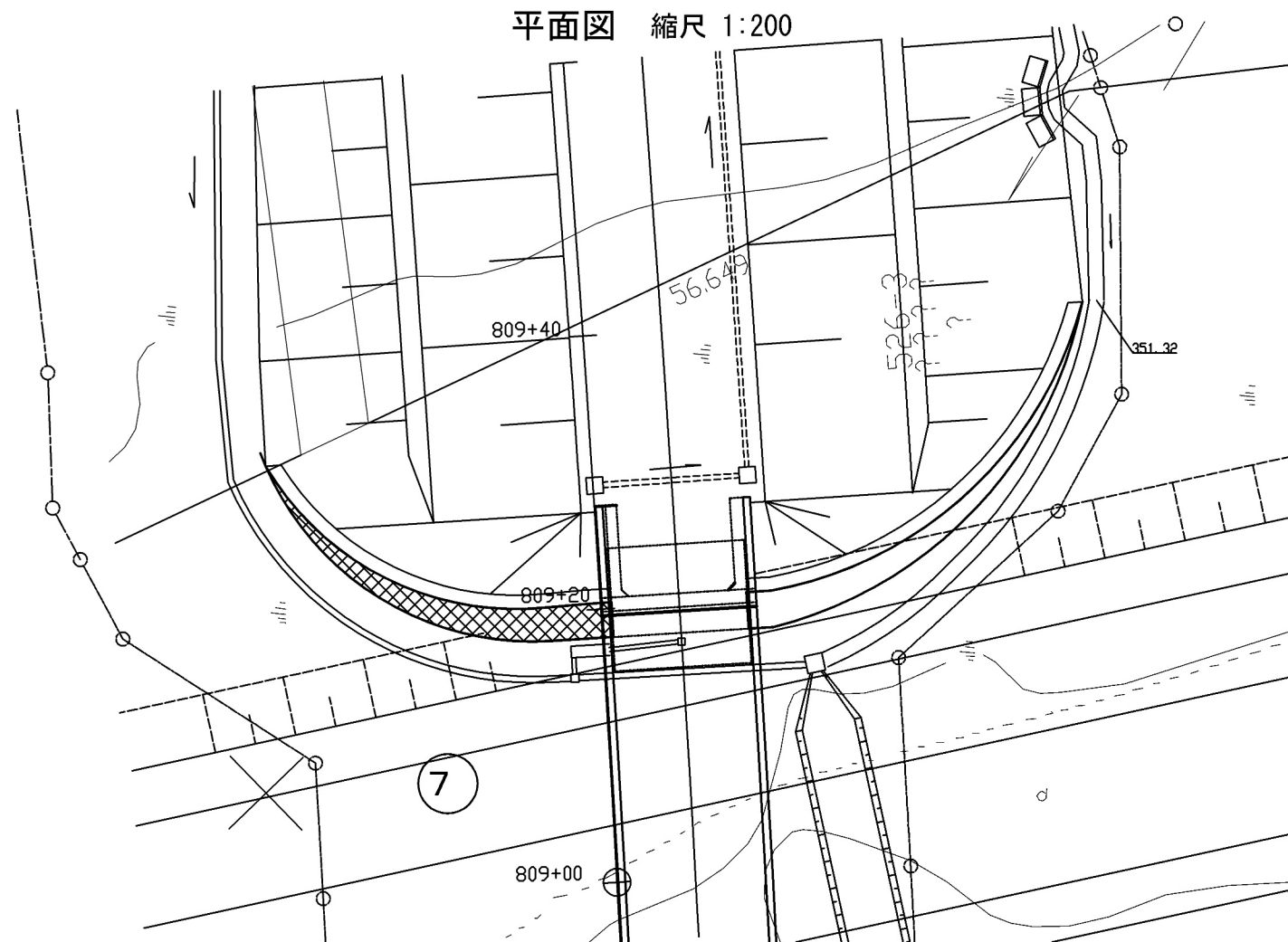
\* 工事開始前に壁土材の室内試験より確認する事  
\* 上記図様に補強土壁の地盤反力と床地盤の特定を










⑤ 数量表 L 側

凡 例	項 目	種 別	単位	数 量
	補強土工	斜比面積 (1.044)	m <sup>2</sup>	62.17
	法面壁面材	H=600mm (3分)	番	91
	天端壁面材	H=300mm (3分)	番	0
	ジオグリッド (主補強材)	TD= 20KN/m G-35 TD= 28KN/m G-50 TD= 35KN/m G-60 TD= 48KN/m G-80 TD= 59KN/m G-100 TD= 70KN/m G-120 TD= 87KN/m G-150	m <sup>2</sup>	219 0 0 154 0 0 0
	補助補強材	TA= 15KN/m 以上 UC-20	m <sup>2</sup>	88
	水平排水材	t=7mm, W=300mm	m	49
	ラセルネット	RN-R-103	m	0
	噴出し防止材	FBO-10 (t=10mm)	m <sup>2</sup>	0
	撤去工	壁土部 基礎部	m <sup>2</sup>	0 0

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (5)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 務 所		

撤去工 詳細図 (6)  
本流鵜川第二橋 A 2 L 側 補強土壁

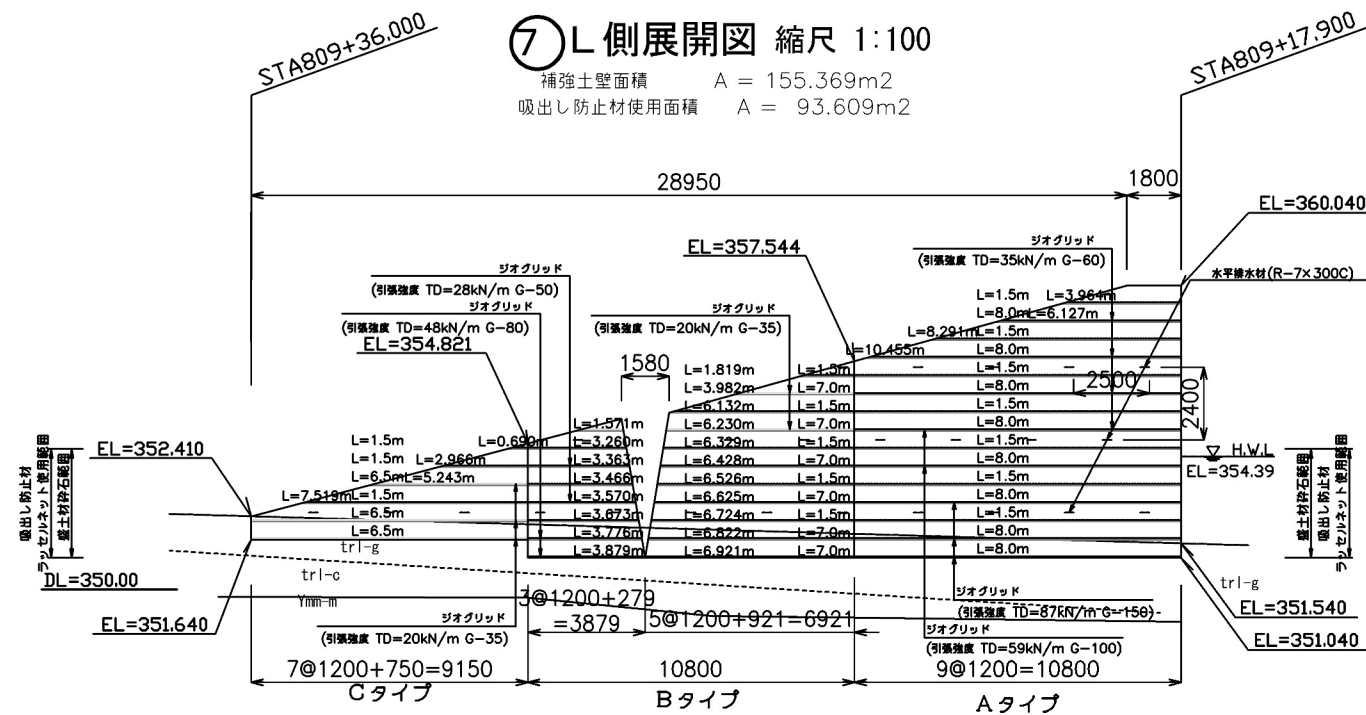


⑦ 数量表 L 割				
凡 例	項 目	規 格	単位	数量
	補強土工	例比面積 (1.044)	m <sup>2</sup>	162.21
	逆置型蓋材	H=600mm,(3分)	蓋	228
	天端型蓋材	H=300mm,(3分)	蓋	0
	ジオグリッド (主増強材)	TD= 20KN/m G-35	m <sup>2</sup>	236
		TD= 28KN/m G-50	m <sup>2</sup>	140
		TD= 35KN/m G-60	m <sup>2</sup>	220
		TD= 48KN/m G-80	m <sup>2</sup>	150
		TD= 59KN/m G-100	m <sup>2</sup>	173
		TD= 70KN/m G-120	m <sup>2</sup>	0
		TD= 87KN/m G-150	m <sup>2</sup>	260
	補助増強材	TA= 15KN/m 以上 UC-20	m <sup>2</sup>	174
	水平排水材	t=7mm,W=300mm	m	187
	ウエルネット	RN-R-103	m	313
	噴出防止材	FBO-10(t=10mm)	m <sup>2</sup>	320
	置換工	盛土部	m <sup>2</sup>	685.1
		蓋砂部	m <sup>2</sup>	658.1

⑦ 設計資料	
補強土壁高さ	Hmax = 9.00 m (3分勾配)
覆土材の性質 (H.W.1以上)	土の単位体積重量 $\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内部摩擦角 $\phi = 25.0^\circ$
	土の粘着力 $c = 15.0 \text{ kN/m}^2$
覆土材の性質 (H.W.1以下)	土の単位体積重量 $\gamma = 20.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内部摩擦角 $\phi = 35.0^\circ$
	土の粘着力 $c = 0.0 \text{ kN/m}^2$
水平風速	kH = 0.14
雪 荷 重	SW = 6.000 kN/m <sup>2</sup>
ジョグリッドの 限界引張強度	G-35 TD=20.0kN/m
	G-50 TD=28.0kN/m
	G-60 TD=35.0kN/m
	G-80 TD=48.0kN/m
	G-100 TD=59.0kN/m
	G-120 TD=70.0kN/m
	G-150 TD=87.0kN/m
壁面材	法面ユニット UCL = h = 60cm
埋込メッキコヤニング	天端ユニット UCL = h = 30cm
ジョグリッド必要支持力	q1 = 216.863 kN/m <sup>2</sup>
	q2 = $\gamma \cdot h$ kN/m <sup>2</sup>

- \* 工事開始前に盛土材の室内試験より確認する事
- \* 上記四様に補強土壁の地盤反力と床地盤の判定を

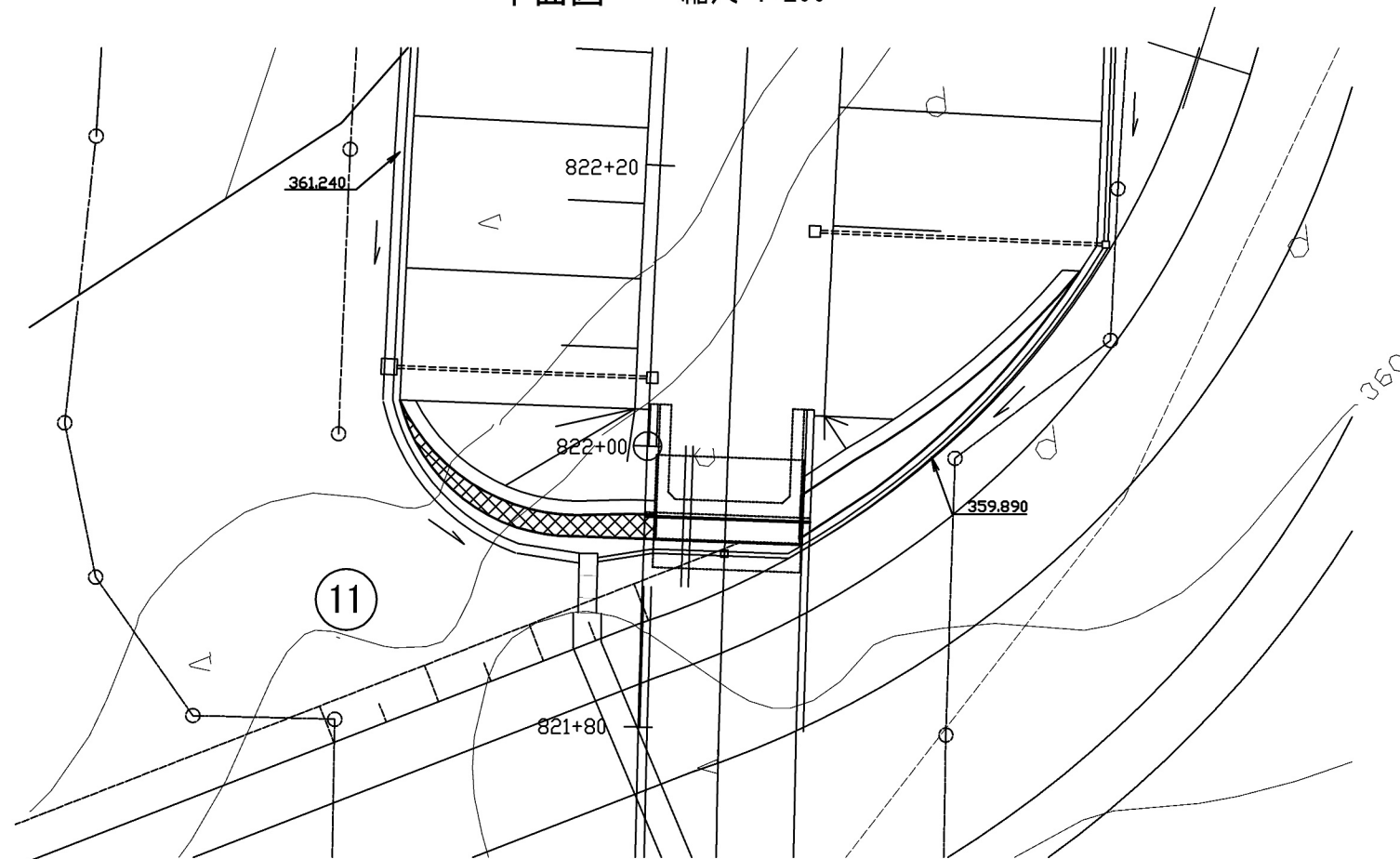
⑦ 置換工盛土材		数量 (m³)
Aタイプ		38.85
Bタイプ	1	23.85
	2	12.85
Cタイプ		18.02



道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (6)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

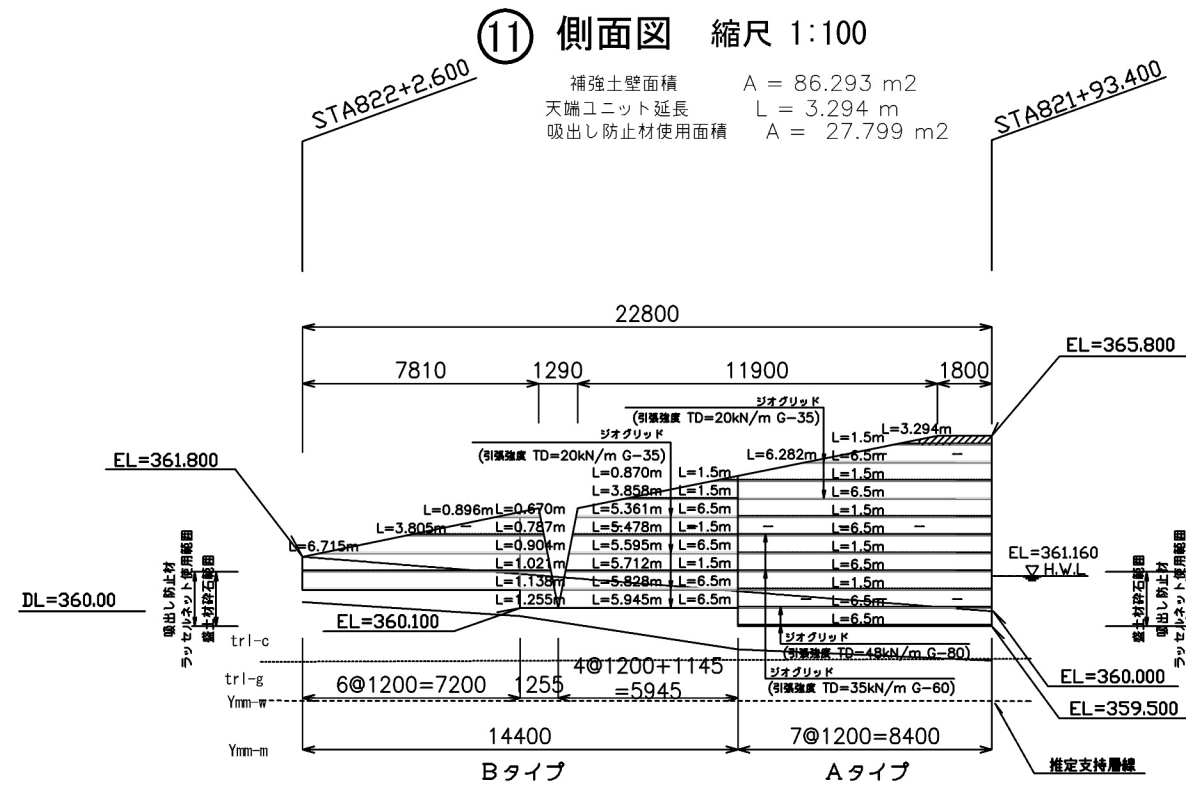
道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工 詳細図(7)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

平面図 縮尺 1:200



⑪ 側面図 縮尺 1:100

補強土壁面積  $A = 86.293 \text{ m}^2$   
 天端ユニット延長  $L = 3.294 \text{ m}$   
 吸出し防止材使用面積  $A = 27.799 \text{ m}^2$

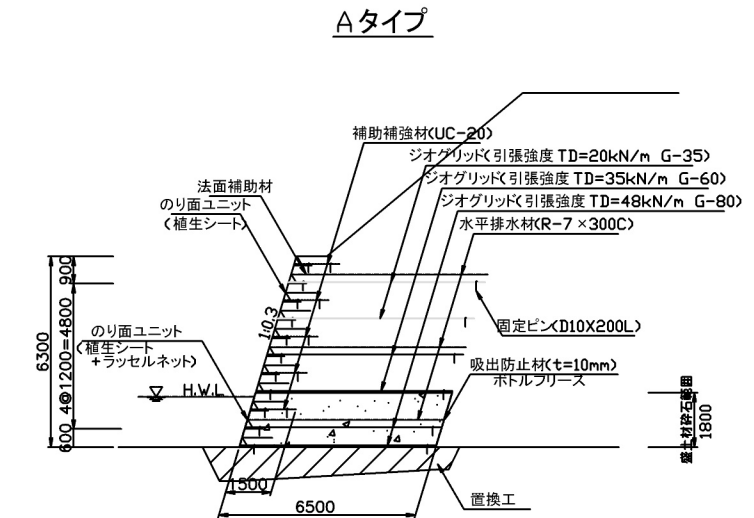
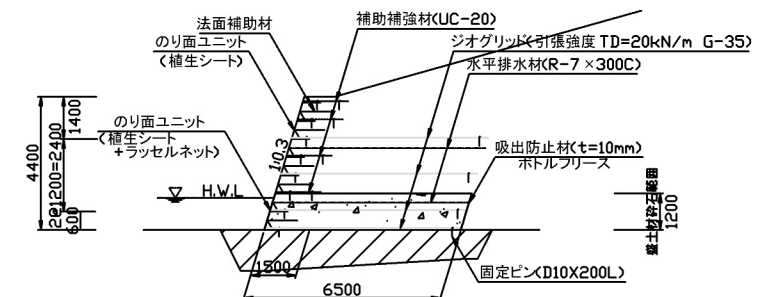


① 設計資料	
補強土設置高さ	Hmax= 6.30 m (3分勾配)
腐土の性質 (H.W.土上)	土の単位体積重量 $\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内摩擦係角 $\phi = 25.0^\circ$
	土の粘着力 $c = 15.0 \text{ kN/m}^2$
腐土の性質 (H.W.土下)	土の単位体積重量 $\gamma = 20.0 \text{ kN/m}^3$
	土の内摩擦係角 $\phi = 35.0^\circ$
	土の粘着力 $c = 0.0 \text{ kN/m}^2$
水平傾度	kH= 0.14
雪 荷 重	SW= 6.000 $\text{kN/m}^2$
ジオグリッドの 限界引張強度	G-35 TD=20.0kN/m
	G-50 TD=28.0kN/m
	G-60 TD=35.0kN/m
	G-80 TD=48.0kN/m
	G-100 TD=59.0kN/m
	G-120 TD=70.0kN/m
	G-150 TD=87.0kN/m
壁面材	法面ユニット UCL= h= 60cm
壁脚メッキコーティング	天端ユニット UCL= h= 30cm
ジオグリッド必要支持力	$q_1 = 172.302 \text{ kN/m}^2$
	$q_2 = 30 \text{ kN/m}^2$

- \* 工事開始前に盛土材の室内試験より確認する事
- \* 上記同様補強土壁の地盤反力と床地盤の判定も

### 補強土工標準断面図

L側標準断面図 縮尺 1:100

Bタイプ

① 数量表 L 側				
凡例	項目	種 別	単位	数量
	補強工	例比強度(1.044)	㎡	90.09
	断面壁面材	H=600mm,(3分)	基	127.0
	天端壁面材	H=300mm,(3分)	基	3.0
	ジョグリッド (主補強材)	TD= 20KN/m G-35	㎡	366.0
		TD= 28KN/m G-50	㎡	0
		TD= 35KN/m G-60	㎡	110.0
		TD= 48KN/m G-80	㎡	110.0
		TD= 59KN/m G-100	㎡	0
		TD= 70KN/m G-120	㎡	0
	補強補強材	TA= 15KN/m 且L UC-20	㎡	99.0
	水平継水材	t=7mm,W=300mm	㎡	72.0
	ラッセルネット	RN=R-103	㎡	99.0
	吸出し防止工	FBO-10(L=10mm)	㎡	178.0
	置換工	盛土砂	㎡	180.0
		基礎砂	㎡	144.0

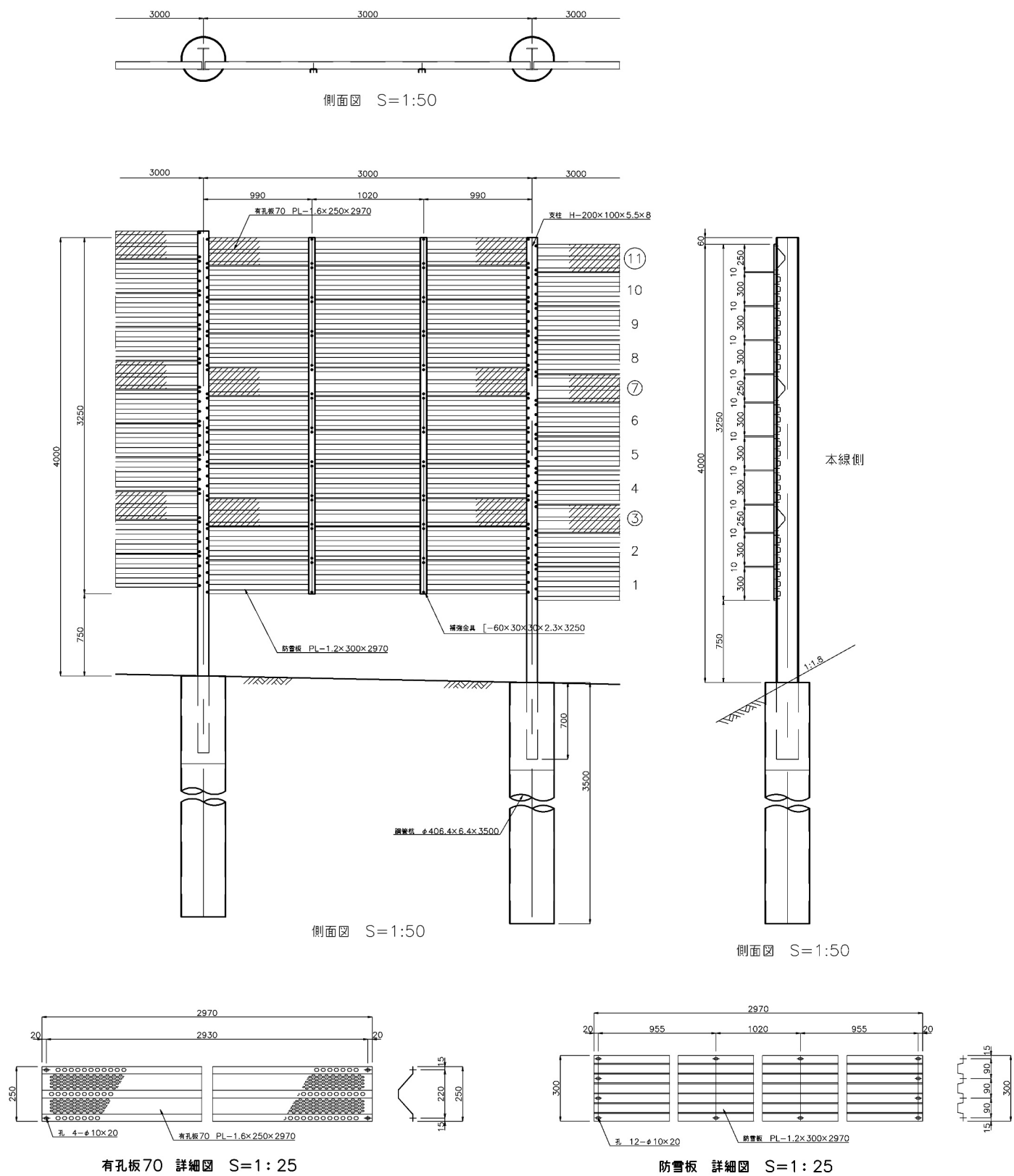
⑪ 置換工盛土材		
		数量 (m³)
Aタイプ		15.12
Bタイプ	1	7.00
	2	5.69

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工 詳細図(8)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		



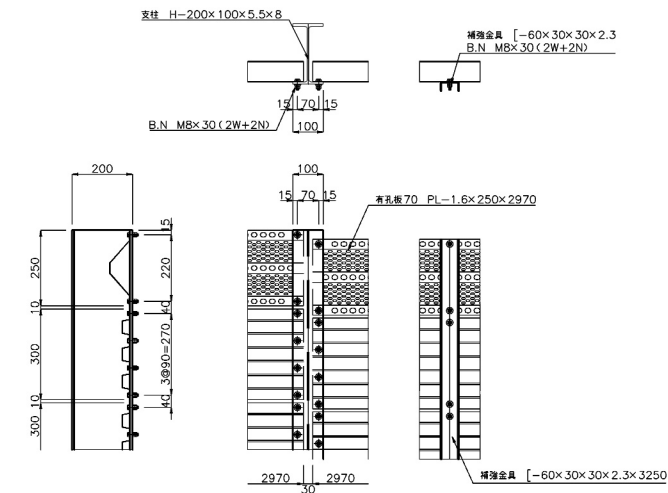
撤去工詳細図(9)

防雪柵 A1

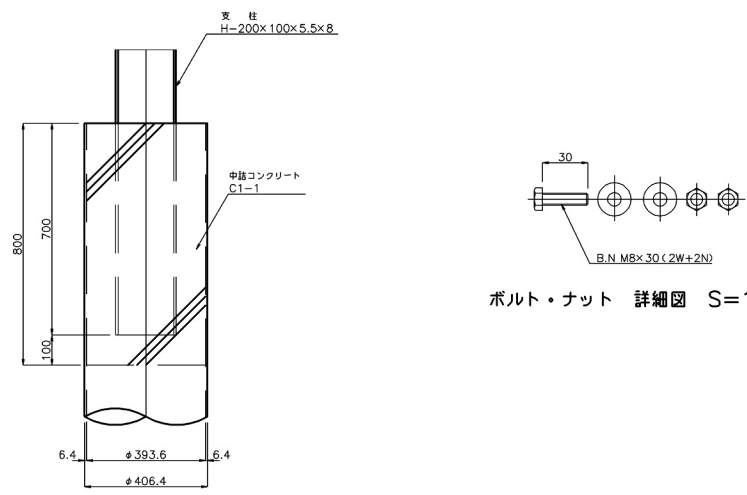


防雪柵 A1 材料表

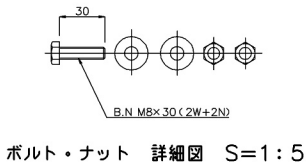
L=30.0m(10スパン当たり)						
名 称	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 重	重 量	備 考
支 柱 (2%)	H-200×100×5.5×8×4760	本	11	99.48	1094.28	JIS G3101 SS400 HDZ55
有孔折板70	PL-1.6t×250×2970	枚	30	8.39	251.70	JIS G3101 SS400 HDZ35
防 雪 板	PL-1.2t×300×2970	枚	80	11.18	894.40	JIS G3352 SDP26B Z27
補 強 金 具	[-60×30×30×2.3×3250	本	20	6.57	131.40	JIS G3350 SSC400 HDZ35
ボルト・ナット	M8×30(2W+2N)	組	1200	0.03	36.00	JIS B1180 相当品 強度区分4.6 HDZ35
鋼 管 杭	φ406.4×6.4×3500	本	11	220.85	2429.35	JIS G3444, 5525 STK400又はSKK400
コンクリート	C1-1				1.056 m <sup>3</sup>	



パネル取付詳細図 S=1:25



柱脚部詳細図 S=1:25



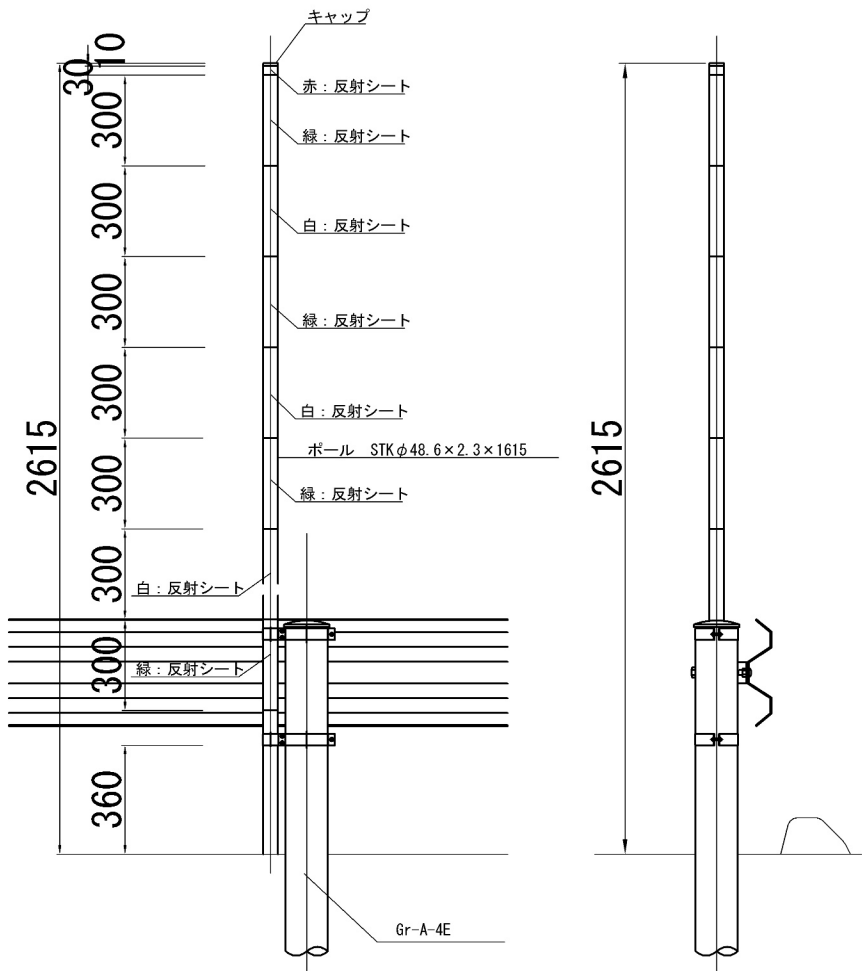
ボルト・ナット 詳細図 S=1:5

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工詳細図(9)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

撤去工詳細図(10)

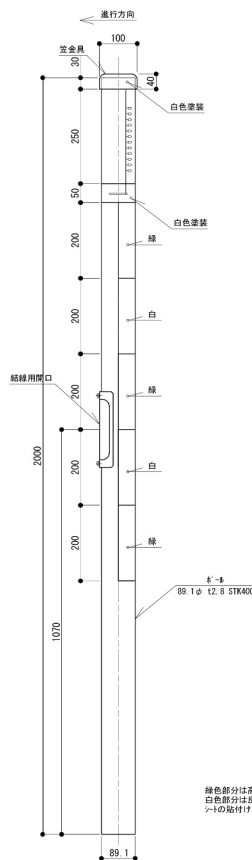
SP-A2

(防護柵支柱添架)

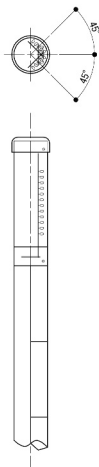


自発光スノーボール姿図(1) S=1/10, 5  
(LED片面発光式) 盛土部用

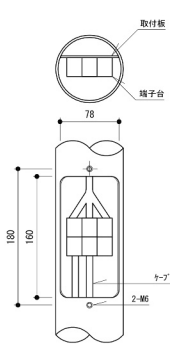
自発光スノーボール姿図 S=1/10



光軸調整範囲 S=1/10

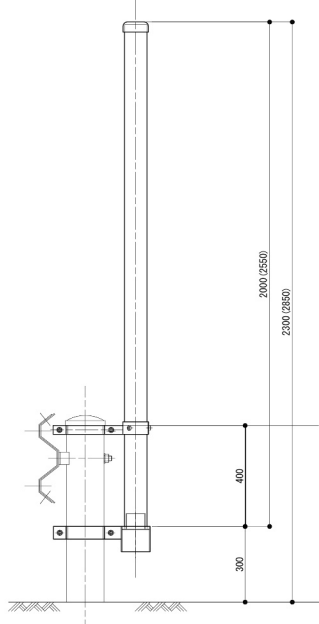


開口部詳細 S=1/5

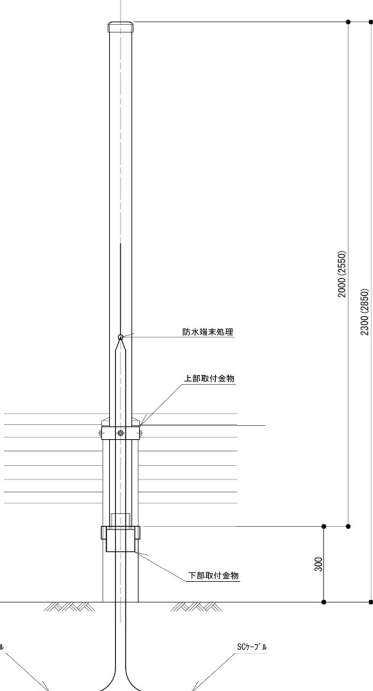


自発光スノーボール取付図及び接続図(1) S=1/15  
(ガードレール用ホース取付タイプ) (Gr・Gr-Cタイプ)

Grホース取付図



接続図

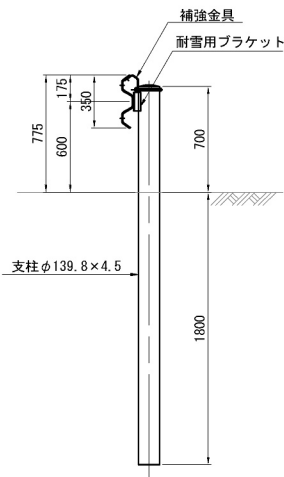


Gr-A-4E(S)  
Gr-A-2E(S) 縮尺 1:50

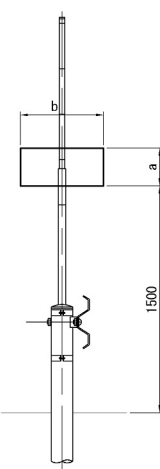
距離標 縮尺 1:50

KP-E 縮尺 1:50

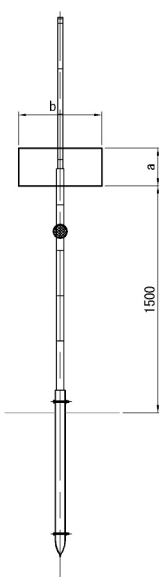
側面図



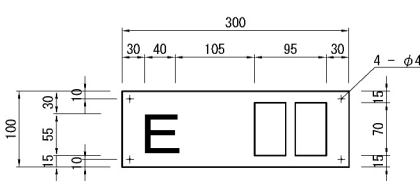
片面型



片面型



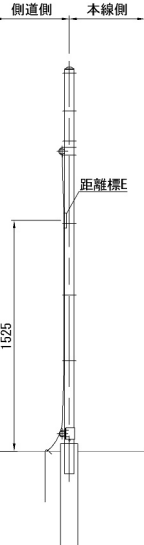
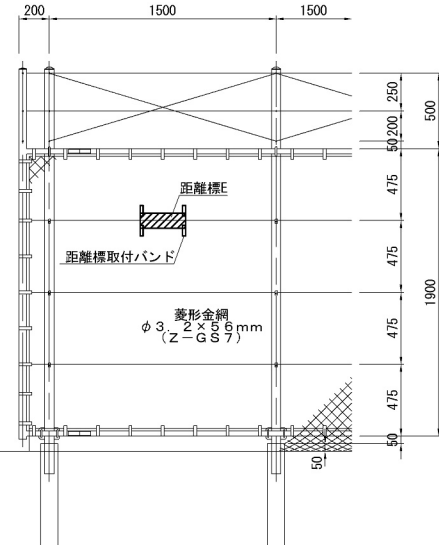
距離標E詳細図 縮尺 1:10



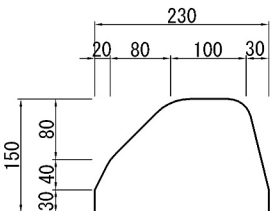
片面型

種別	a	b	備考
KP-A5-3	360	700	スノーボール添架
KP-C5-3	180	400	スノーボール添架
KP-D5-2	100	300	スノーボール添架
KP-B5-1	250	550	自発光スノーボール添架
KP-C5-1	180	400	自発光スノーボール添架
KP-C6-1			

設置位置図



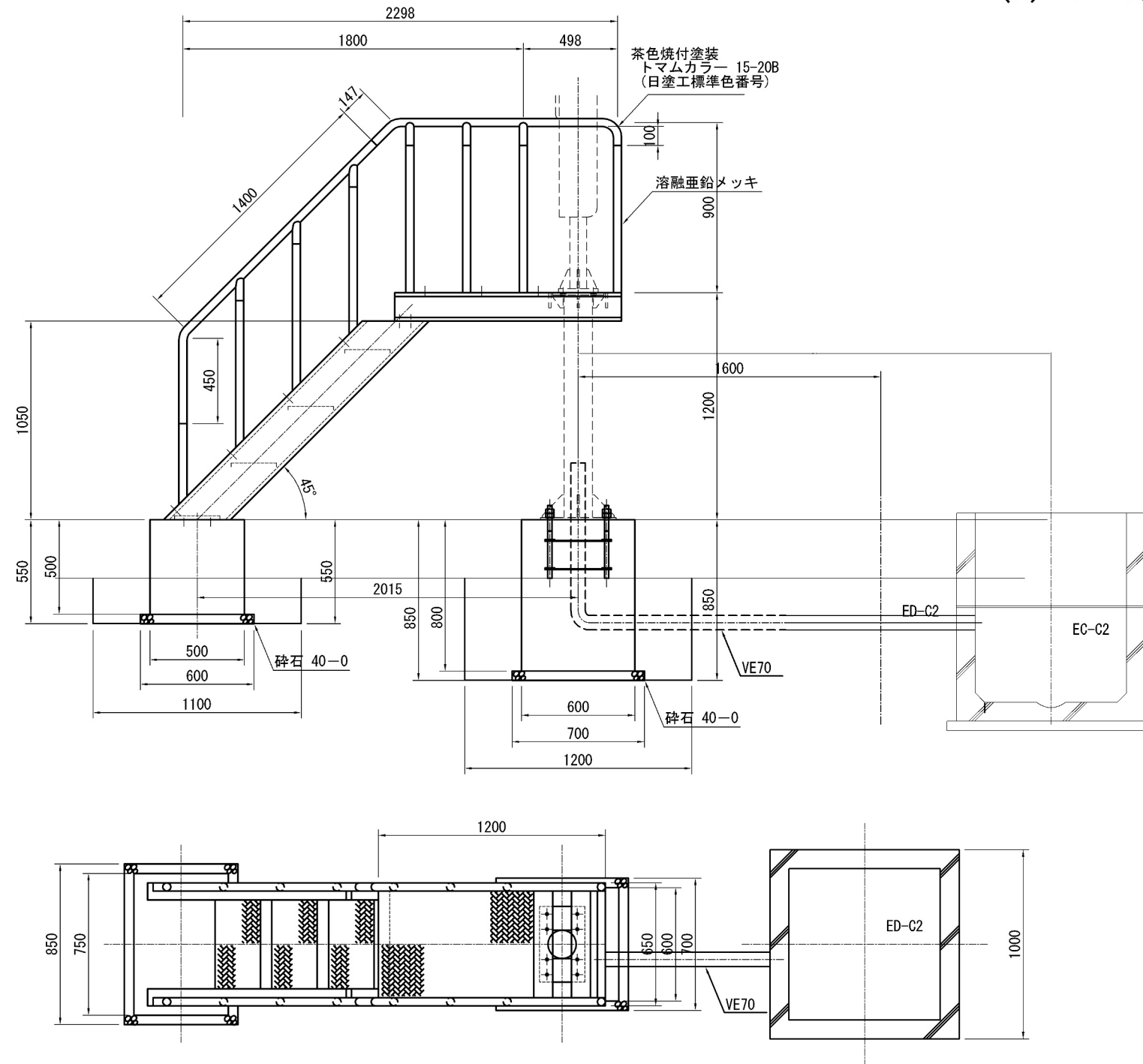
As-C S=1:10



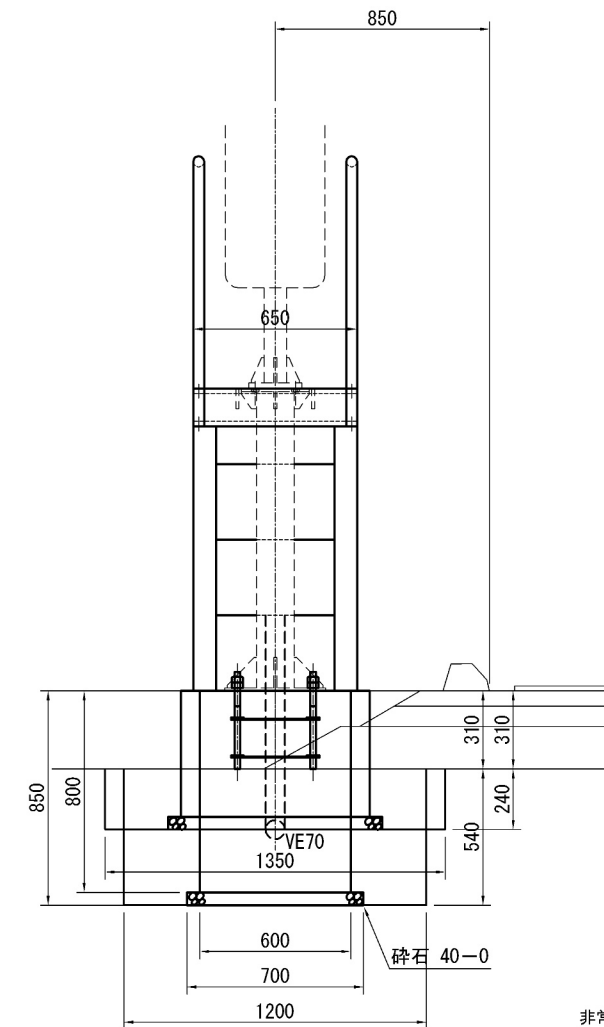
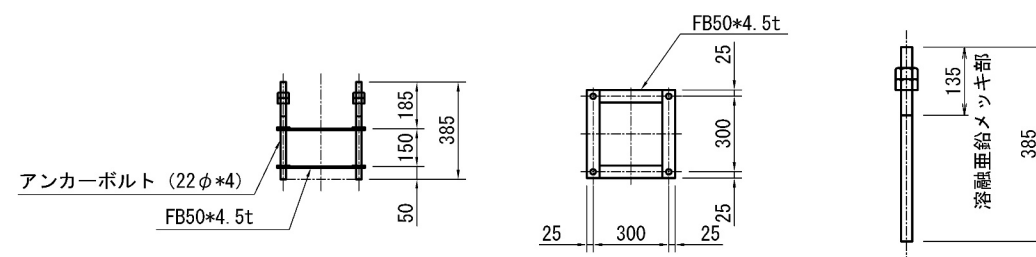
道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	撤去工詳細図(10)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



撤去工詳細図(11)  
非常電話基礎図 S=1:15, 30  
 ET-HC(A) (平坦部)



アンカーボルト詳細図 S=1:15, 30



非常電話架台数量表

材料名	規 格	単位重量	長さ (面積)	数量	重量
エキスパンドメタル	規格-21	13.70 kg/m <sup>2</sup>	0.454	1	6.220
"	ⅩG-21	13.70 kg/m <sup>2</sup>	0.196	3	8.056
形 鋼	□250×90×9×13t	34.60 kg/m	1.485	2	102.762
"	□150×50×20×3.2t	6.76 kg/m	1.20	2	16.224
"	L100×100×7t	10.70 kg/m	0.550	2	11.770
"	L50×50×6t	4.43 kg/m	0.550	3	7.31
"	L50×50×6t	4.43 kg/m	0.24	2	2.126
平 鋼	FB50×6t	2.36 kg/m	1.148	2	5.419
"	FB50×6t	2.36 kg/m	1.430	2	6.750
"	FB50×4.5t	1.77 kg/m	0.35	8	4.956
鋼 板	PL 6t	47.10 kg/m <sup>2</sup>	0.013	2	1.225
"	PL 6t	47.10 kg/m <sup>2</sup>	0.006	6	1.696
"	PL 22t	172.70 kg/m <sup>2</sup>	0.100	1	17.270
"	PL 22t	172.70 kg/m <sup>2</sup>	0.160	1	27.632
"	PL 12t	94.20 kg/m <sup>2</sup>	0.007	2	1.319
"	PL 12t	94.20 kg/m <sup>2</sup>	0.003	2	0.565
"	PL 12t	94.20 kg/m <sup>2</sup>	0.014	4	5.275
"	PL 9t	76.65 kg/m <sup>2</sup>	0.028	2	4.292
鋼 管	STK φ139.8×4.5t	15.00 kg/m	1.193	1	17.895
"	SGP φ42.7×3.5t	3.38 kg/m	4.951	2	33.469
"	SGP φ42.7×3.5t	3.38 kg/m	5.000	2	33.800
"	SGP φ34.0×3.2t	2.43 kg/m	0.080	2	0.389
"	RB φ22	2.98 kg/m	0.385	4	4.589
合 計					321.009

非常電話基礎数量表				(1箇所当り)
項 目	規 格	単 位	数 量 非常電話基礎	備 考
鉄蓋	G2	組	1	
ハンドホール	ユニットa	個	1	プレキャストコンクリート製
ハンドホール	ユニットd	個	1	プレキャストコンクリート製
架台		kg	321.009	
ノーマルバンド	VE70	個	1.0	
ビニール管	VE70	m	1.0	
ビニール管	VP50	m	1.5	
落下防止キャップ		個	1.0	
コンクリート	G1-1	m <sup>3</sup>	0.476	
モルタル	1:2	m <sup>3</sup>	0.004	
型枠	d	m <sup>2</sup>	3.170	
切込砕石	40-0	m <sup>3</sup>	0.050	
敷砂		m <sup>3</sup>	0.061	
掘削	土砂	m <sup>3</sup>	2.701	
埋戻	土砂	m <sup>3</sup>	1.799	
残土処理	土砂	m <sup>3</sup>	0.902	

注記

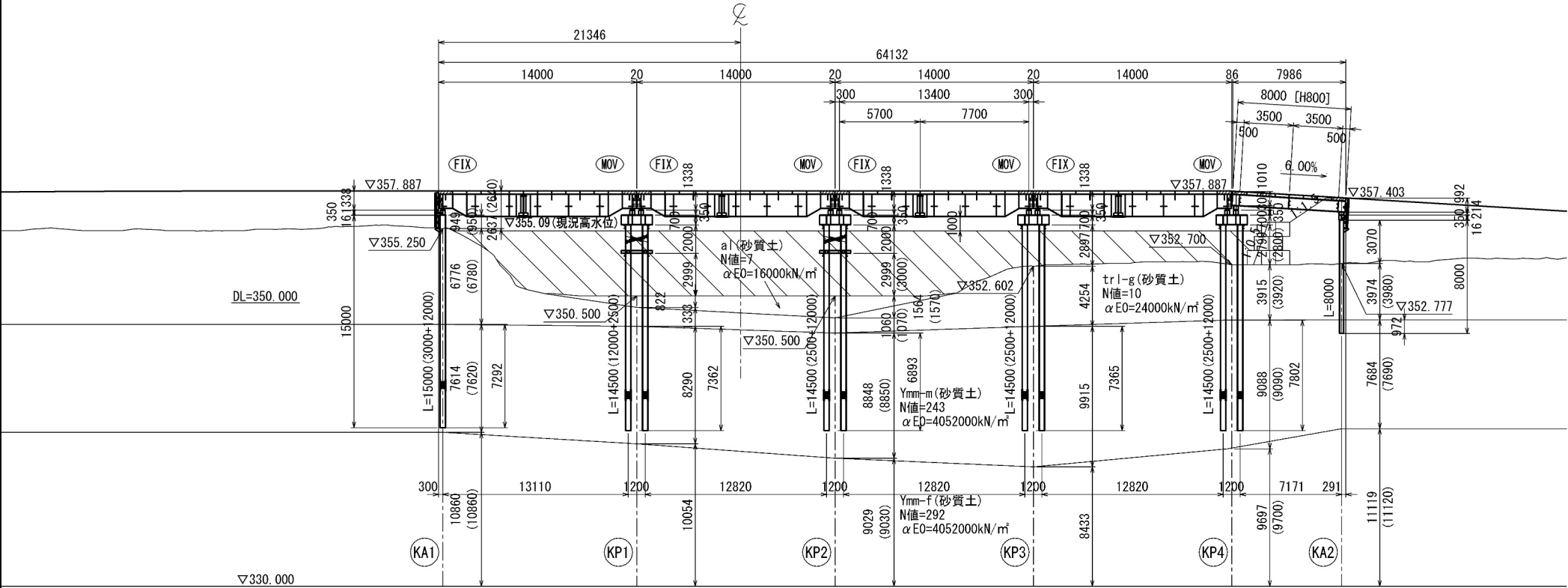
- 安全柵及び手摺の表面処理は溶融亜鉛メッキ (JIS H-8641 HDZ55) とする。
- 手摺の焼付塗装は茶色15-20B (日塗工標準番号) 付着量 $60\mu$ 以上とする。(占冠IC～下トマムTN間)
- 架台すべての焼付塗装は茶色15-20B (日塗工標準番号) 付着量 $60\mu$ 以上とする。(下トマムTN～トマムIC間)

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工詳細図(11)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

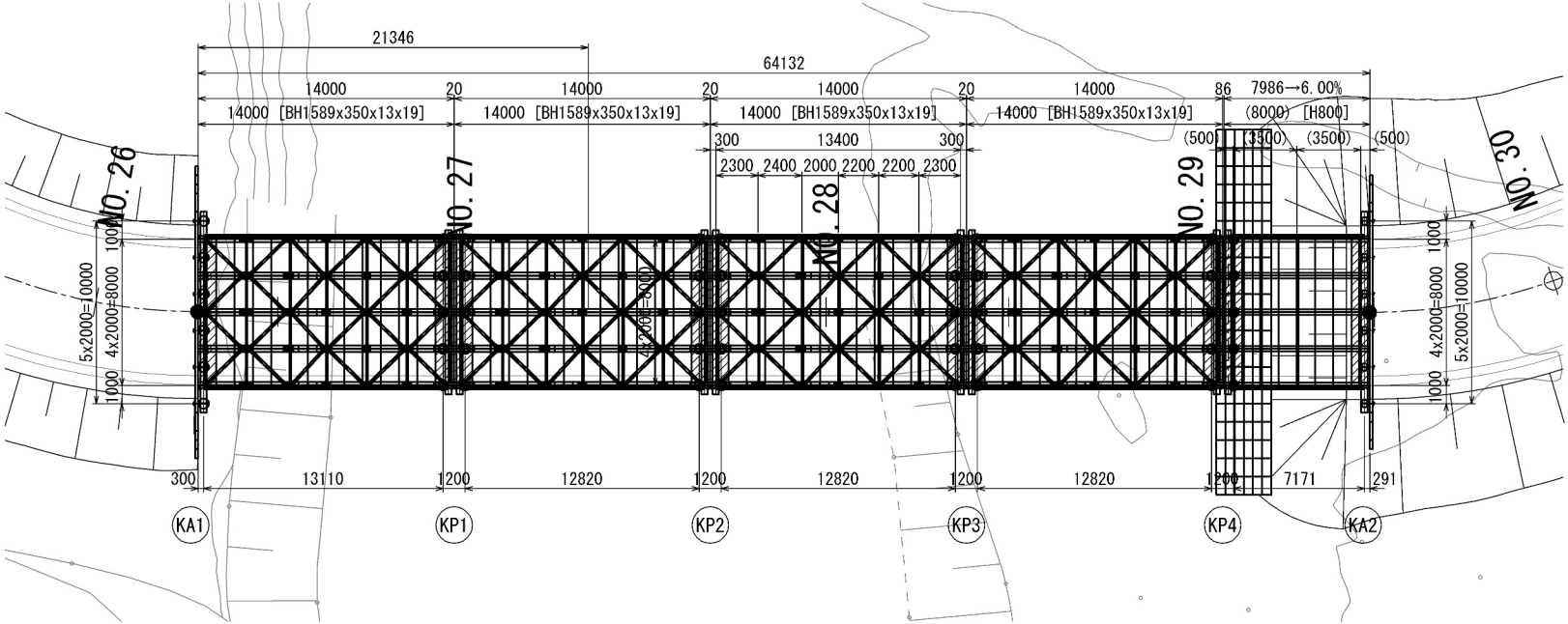
撤去工 詳細図 (12)

仮栈橋E 一般図  
(本流鷗川第二橋)

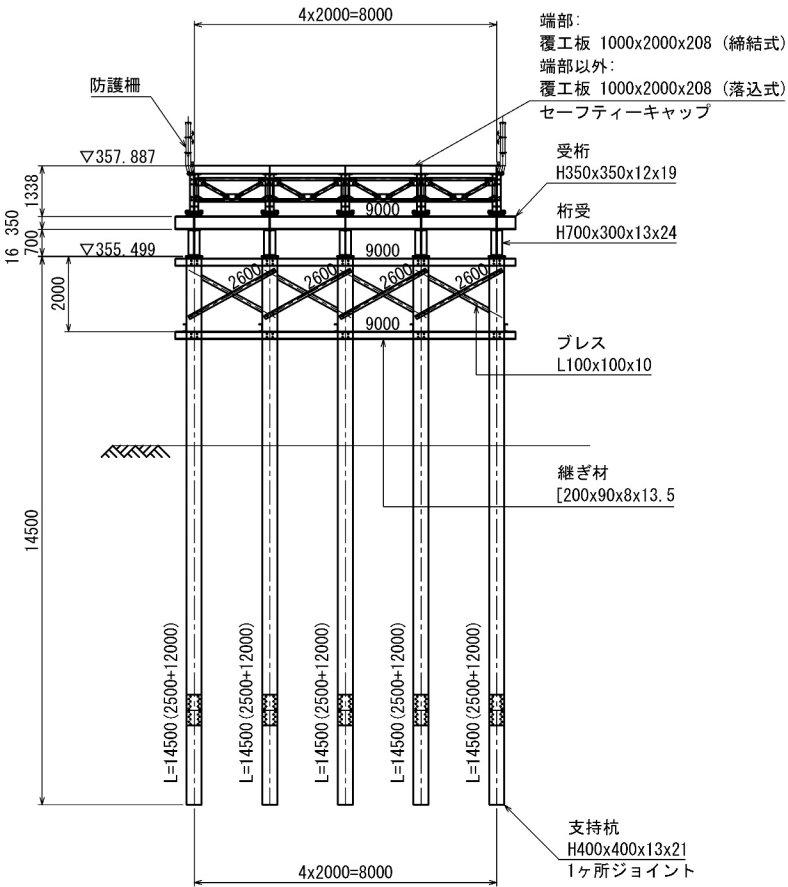
側面図 S=1:400



平面図 S=1:400



KP2 断面図 S=1:200



設計条件

上部工	活荷重	A活荷重 200tクローラクレーン吊荷重220kN(抗引抜時)
	衝撃係数	i=0.3 (覆工板 i=0.4)
	たわみ	L/400mm以下
	覆工板	落込式 一部桁端部:上部締結式
	勾配	縦断 Level KP4~KA2間: 6.000% 横断 Level
下部工	形式	杭橋脚
	杭の施工方法	ダウンザホールハンマ工法 $\alpha=1.0, \beta=0.5$
許容応力度の割増係数		1.5

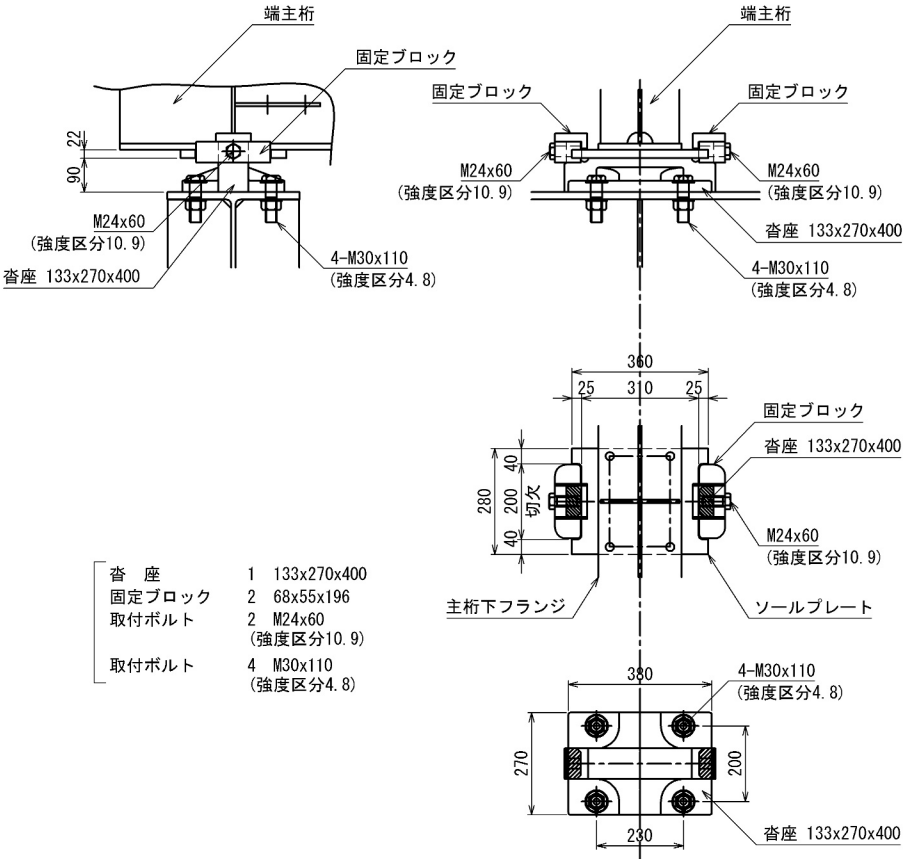
道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	撤去工 詳細図(12)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工 詳細図(13)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 常 広 工 事 事 務 所		

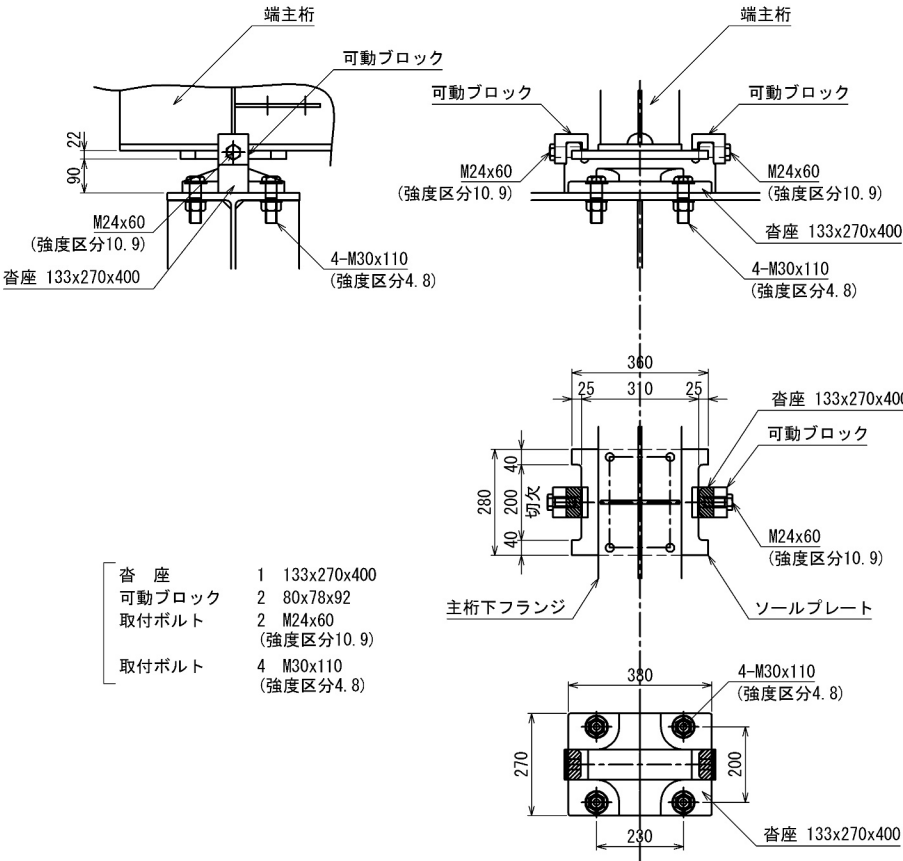
仮栈橋E 上部工詳細図 (2)  
(本流鷗川第二橋)

支 承 S=1:20

F I X.

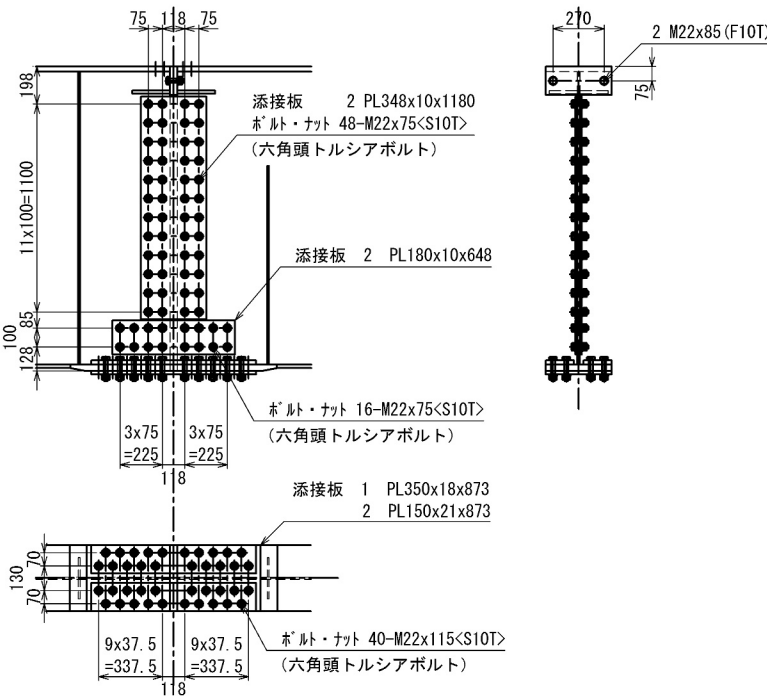


M O V.



主桁の添接 ("A"部)

S=1:40



※ <S10T>は、六角頭トルシアボルトを示す。

- |        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 添接板    | 2 PL348x10x1180               |
|        | 2 PL180x10x648                |
|        | 1 PL350x18x873                |
|        | 2 PL150x21x873                |
| ボルトナット | 40 M22x115<S10T> (六角頭トルシアボルト) |
|        | 2 M22x 85 (F10T)              |
|        | 64 M22x 75<S10T> (六角頭トルシアボルト) |

- 注1) . ウェブ及び下フランジの添接には 六角頭トルシアボルトを使用し  
他は六角高力ボルトを使用する。  
注2) . 下フランジでは ボルトをすべて外向きに挿入する。  
注3) . ドリフトピンを 下フランジボルト穴に打ち込み 位置決めを行う。  
注4) . 上フランジのエンドプレートを密着させるため ボルト締めは上フランジから行う。

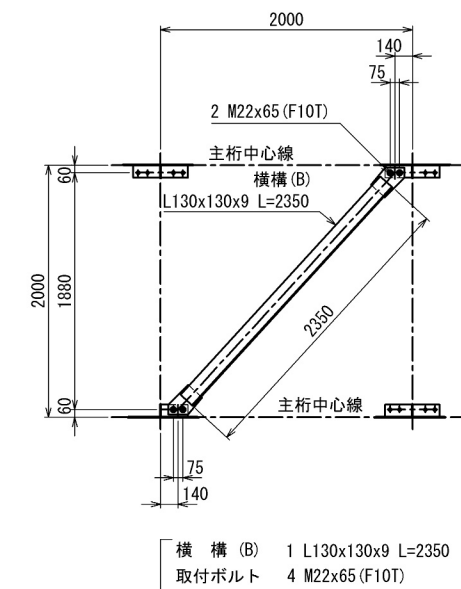
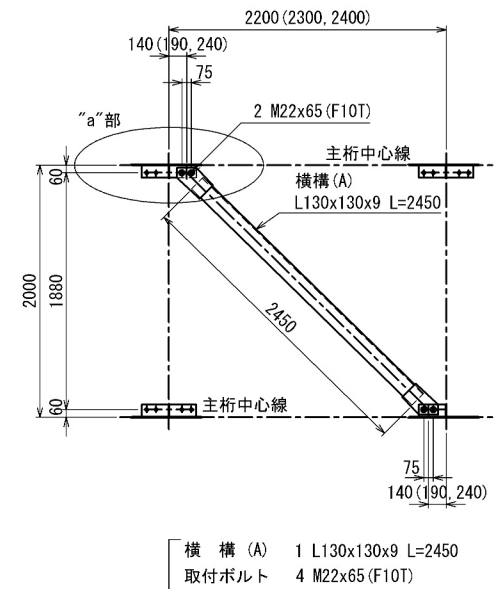
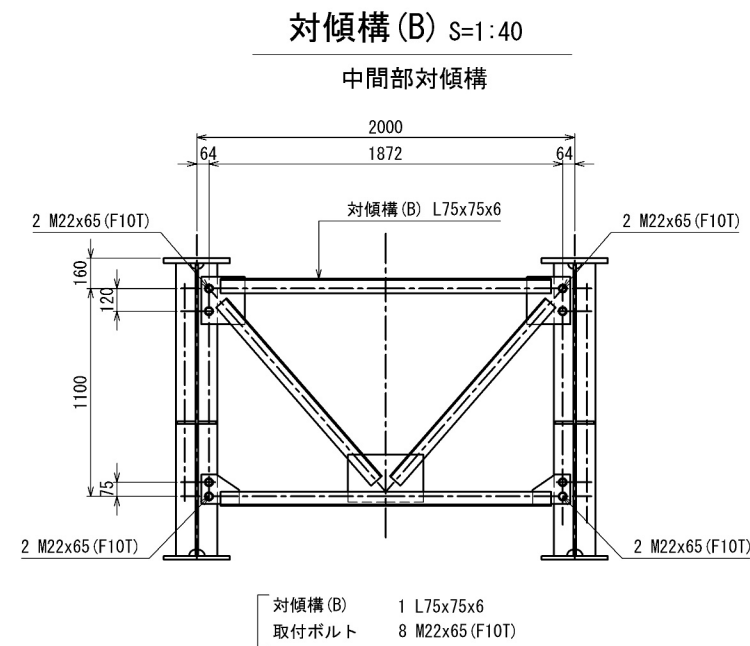
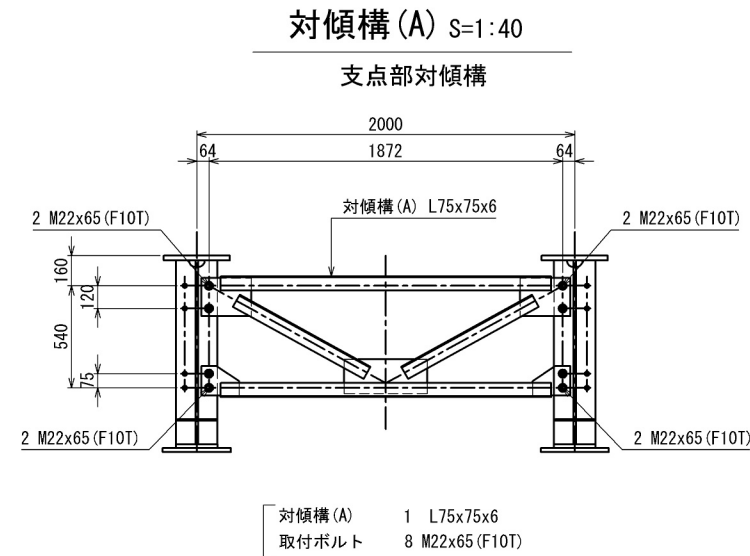
道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (14)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

# 撤去工 詳細図 (15)

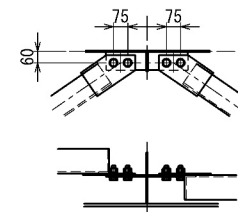
100 / 144

仮栈橋E 上部工詳細図 (3)  
(本流鷗川第二橋)

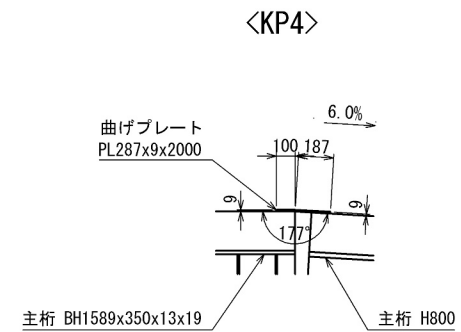
横 構 S=1:60



“a”部 拡大図 S=1:40



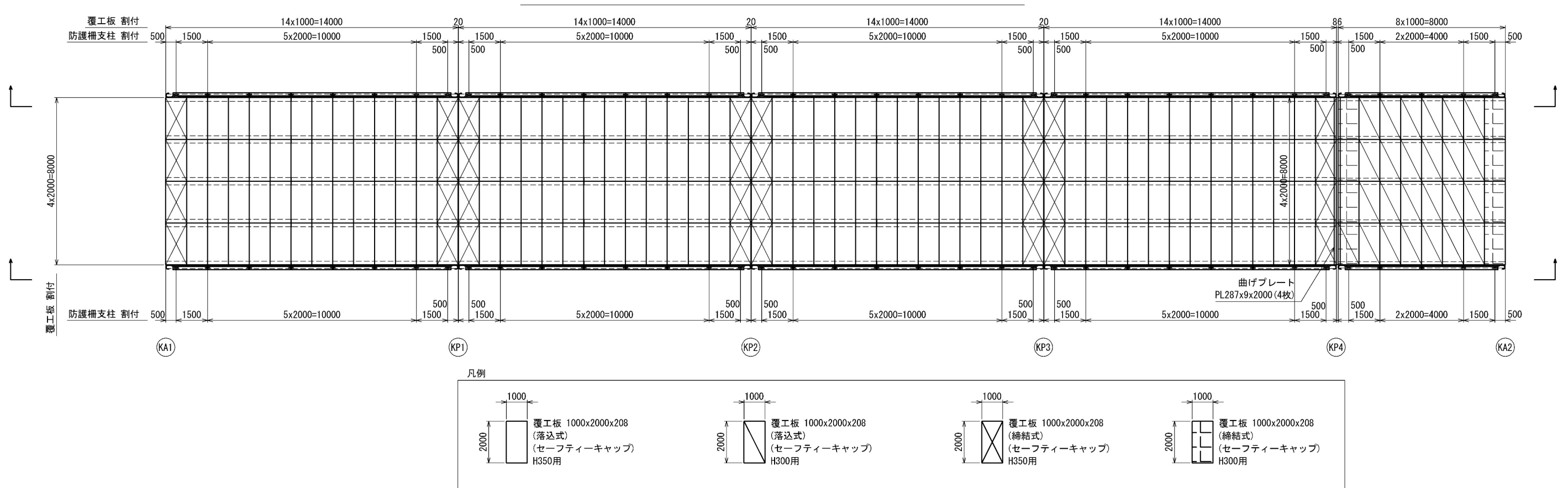
曲げプレート詳細図 S=1:40



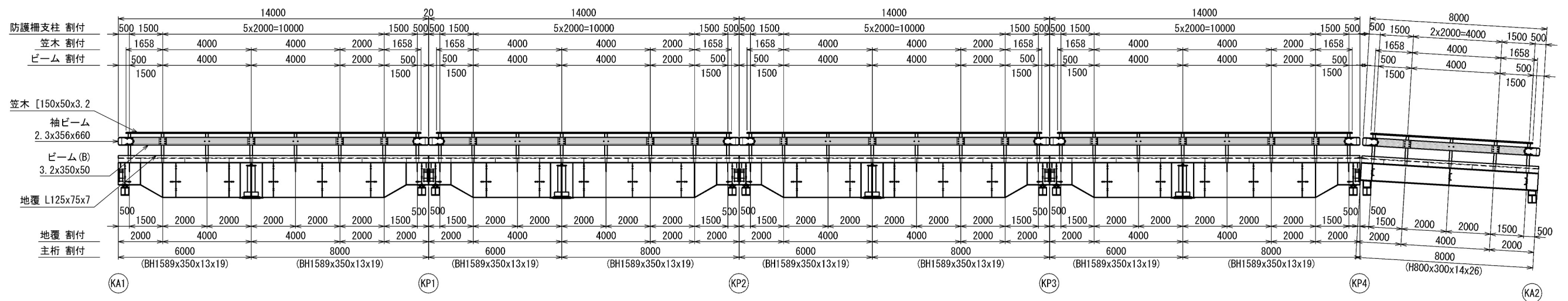
道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (15)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

撤去工 詳細図 (16)

仮栈橋E 上部工詳細図 (4)  
(本流鷗川第二橋)



防護柵割付図 S=1:200

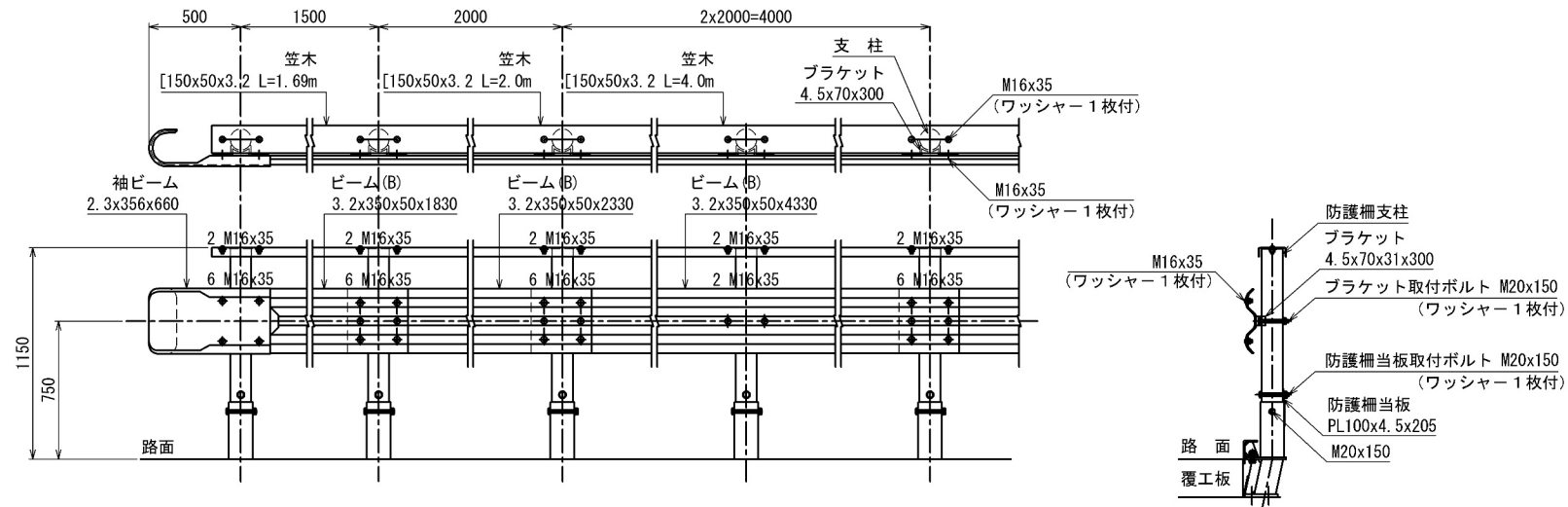


道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (16)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

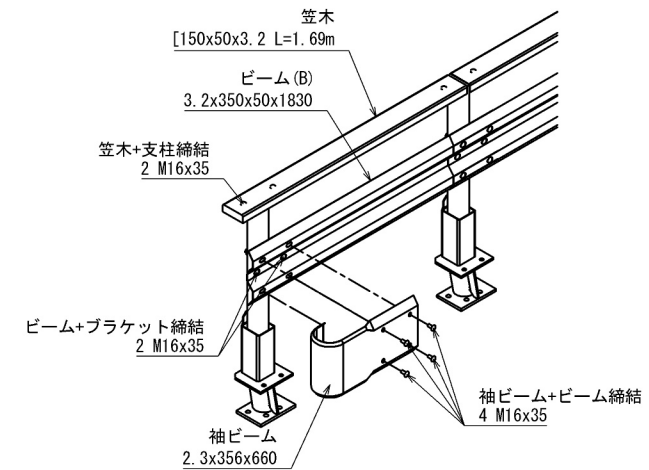
# 撤去工 詳細図 (17)

仮栈橋E 上部工詳細図 (5)  
(本流鷗川第二橋)

防護柵組立図 S=1:40

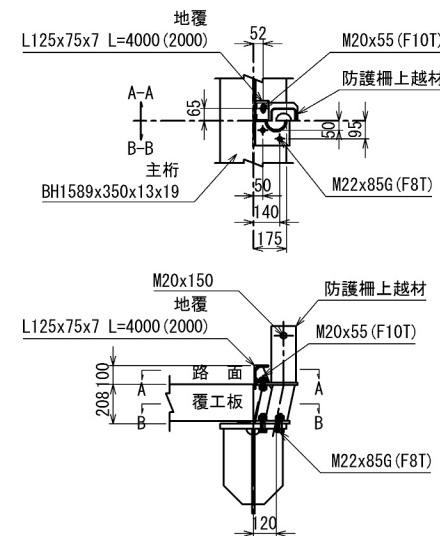


袖ビーム取合図 S=1:40



地覆, 防護柵上越材取付図 S=1:40

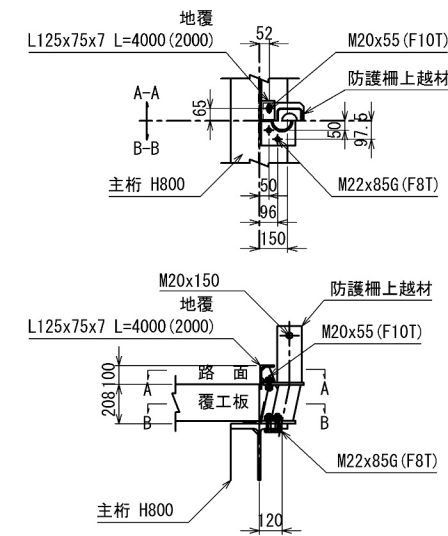
[BH1589x350x13x19]



防護柵支柱 φ114.3x4.5 L=1.135m  
防護柵上越材 □130x130x4.5 L=0.3m  
ボルト 4 M22x85G (F8T)  
2 M20x55 (F10T)  
1 M20x150

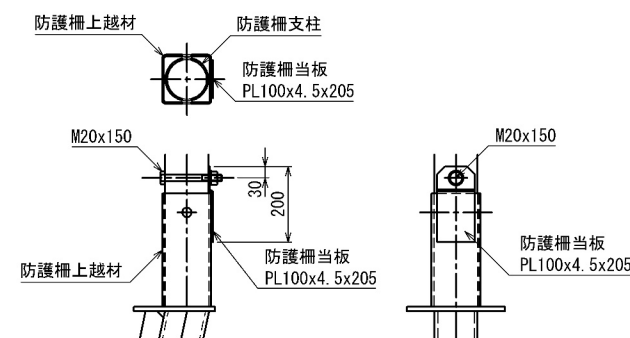
地覆, 防護柵上越材取付図 S=1:40

[H800]



防護柵支柱 φ114.3x4.5 L=1.135m  
防護柵上越材 □130x130x4.5 L=0.3m  
ボルト 4 M22x85G (F8T)  
2 M20x55 (F10T)  
1 M20x150

防護柵当板取付図 S=1:20



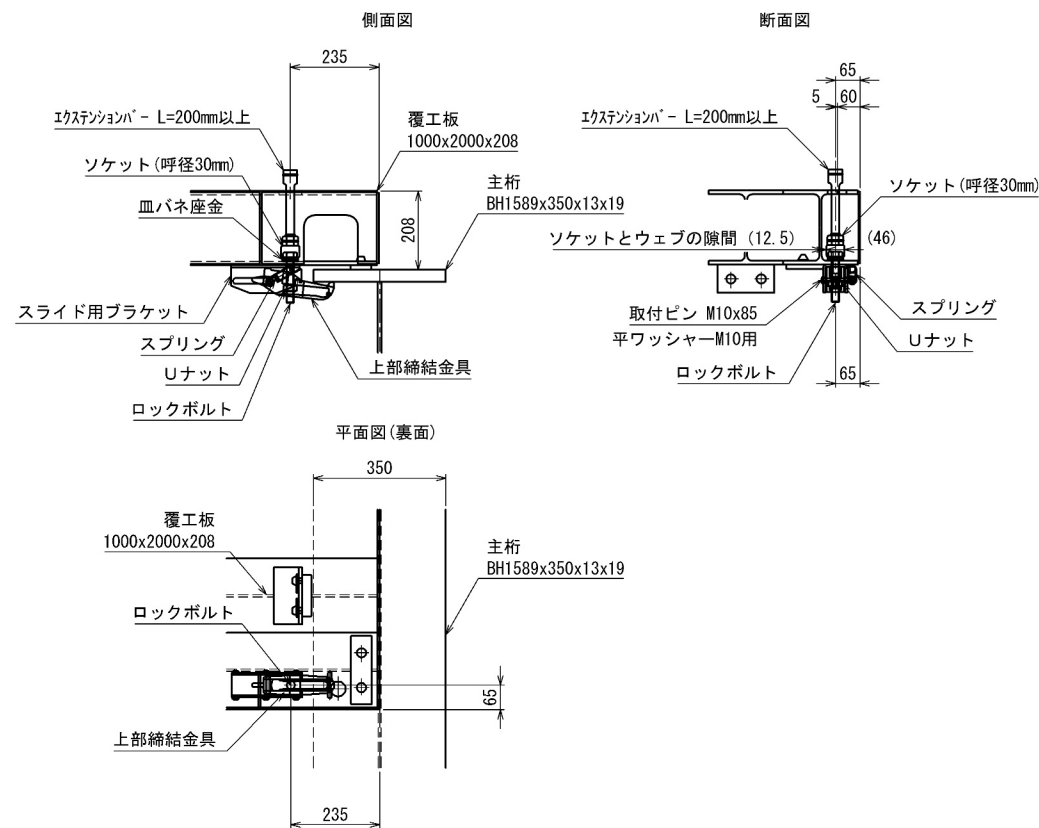
道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (17)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

撤去工 詳細図 (18)

仮栈橋E 上部工詳細図 (6)  
(本流鷗川第二橋)

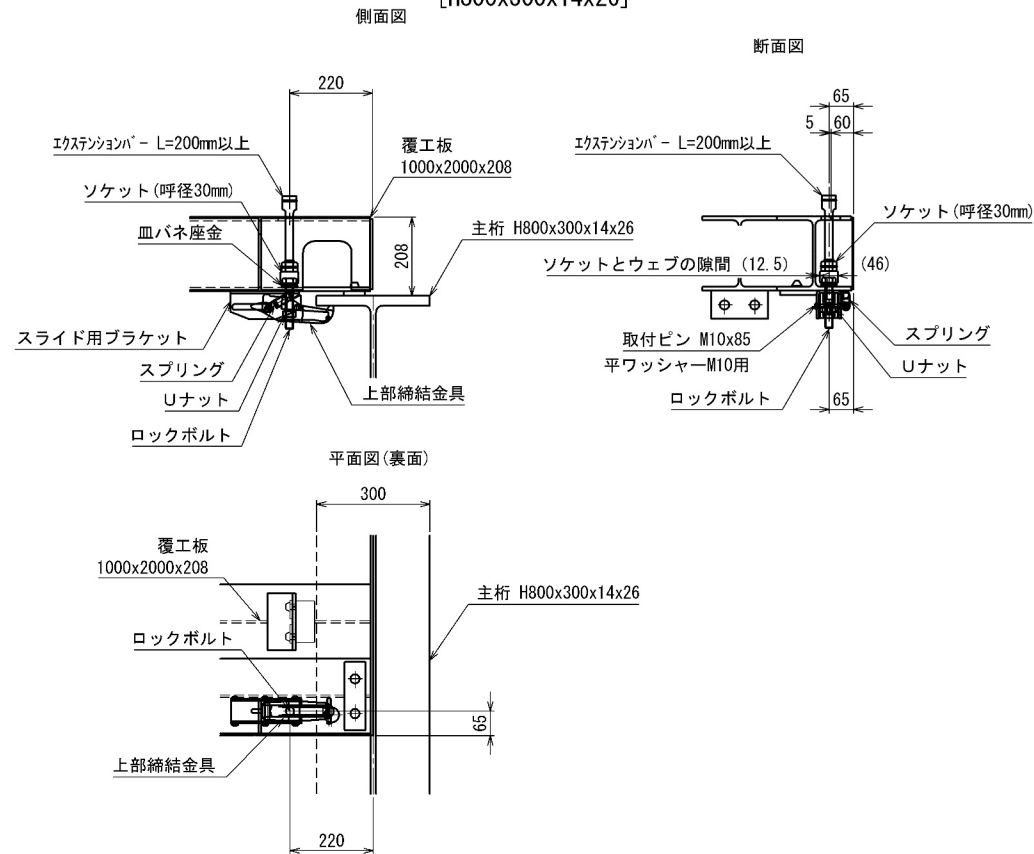
上部締結金具組立図 S=1:20

(覆工板 1000x2000x208)  
[BH1589x350x13x19]

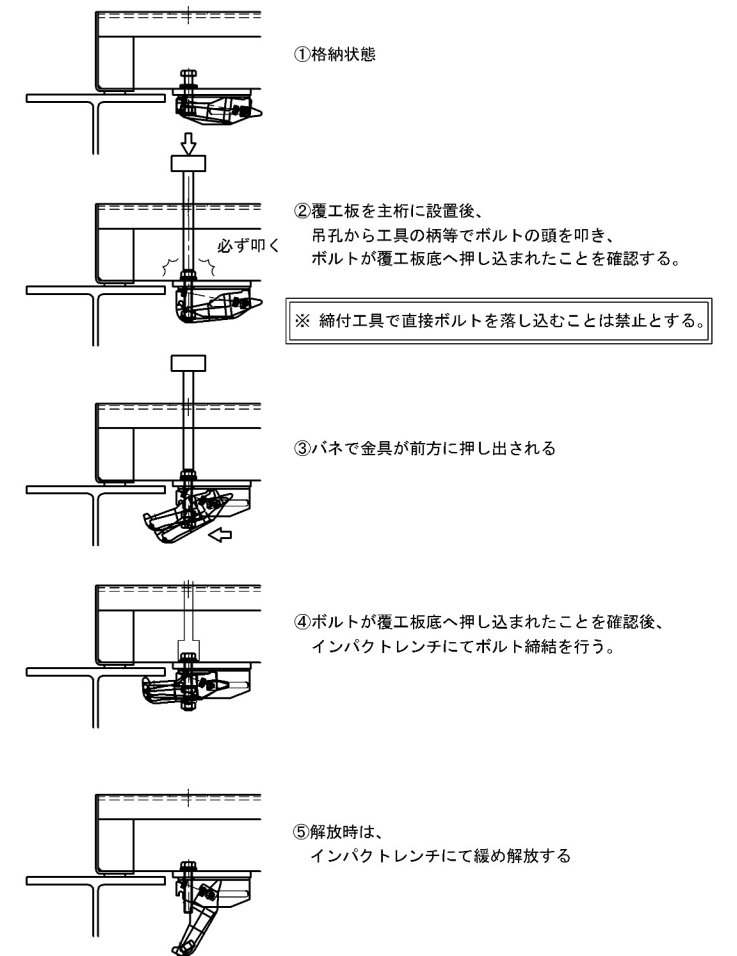


上部締結金具組立図 S=1:20

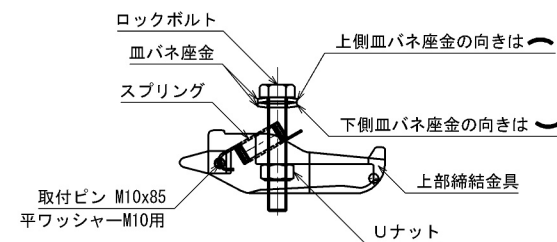
(覆工板 1000x2000x208)  
[H800x300x14x26]



上部締結金具締め付け手順 S=1:20



取付ボルト詳細図 S=1:8



上部締結金具	1	スライド用ブラケット	1
ロックボルト	1		
Uナット	1		
血バネ座金	2		
スプリング	1		
取付ピン	1		
取付ピン用平ワッシャー	1		

道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (18)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務所		



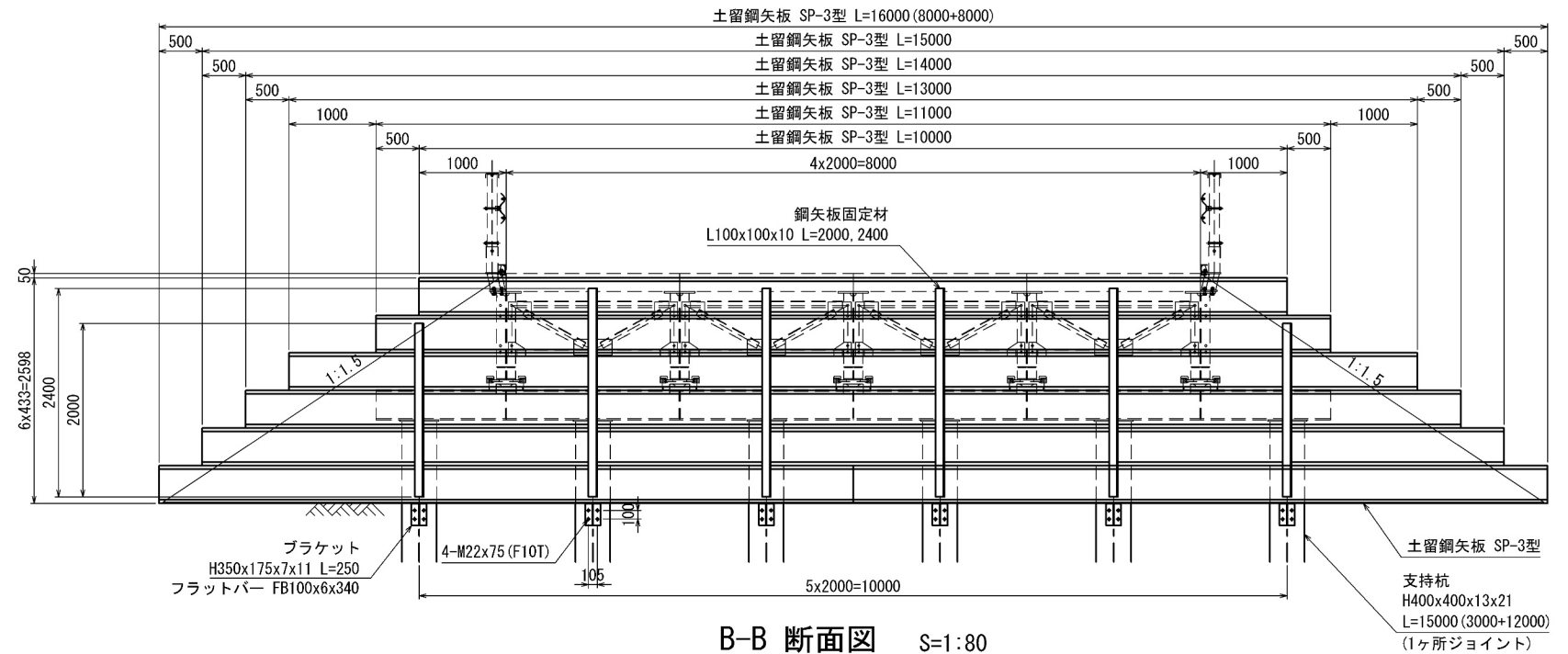
# 撤去工 詳細図 (19)

仮棧橋E 下部工詳細図 (1)

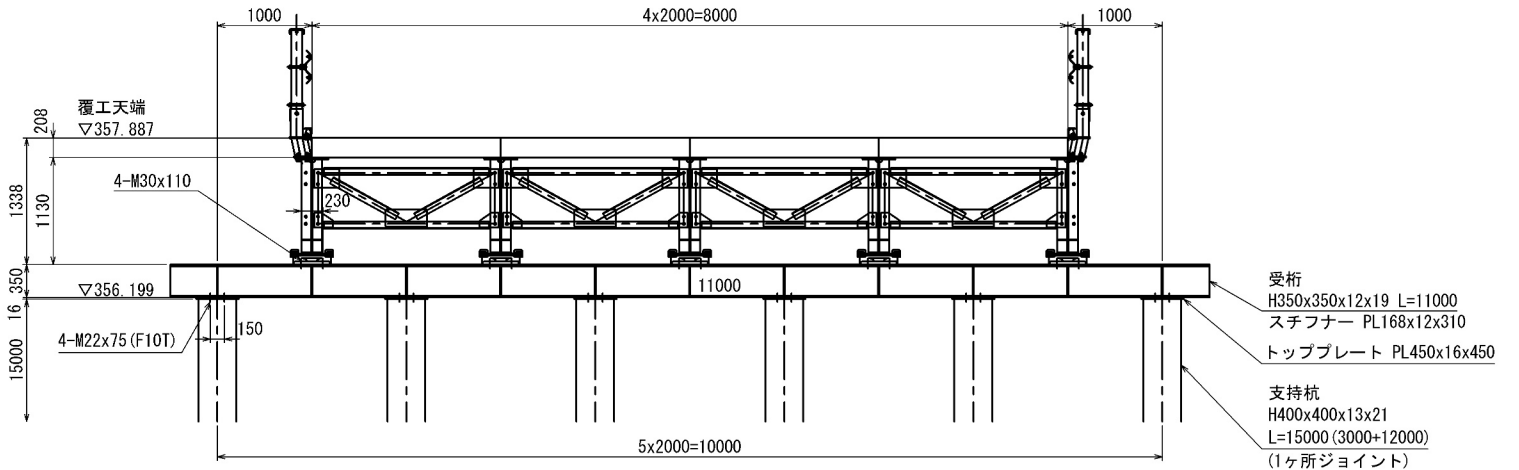
(本流鷗川第二橋)

< KA1 >

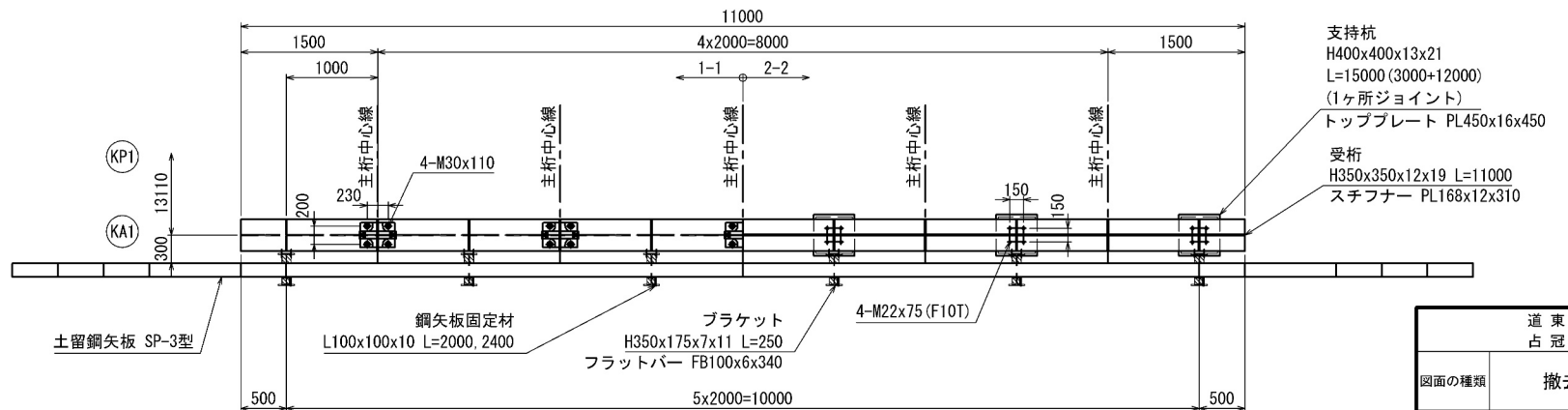
A-A 断面図 S=1:80



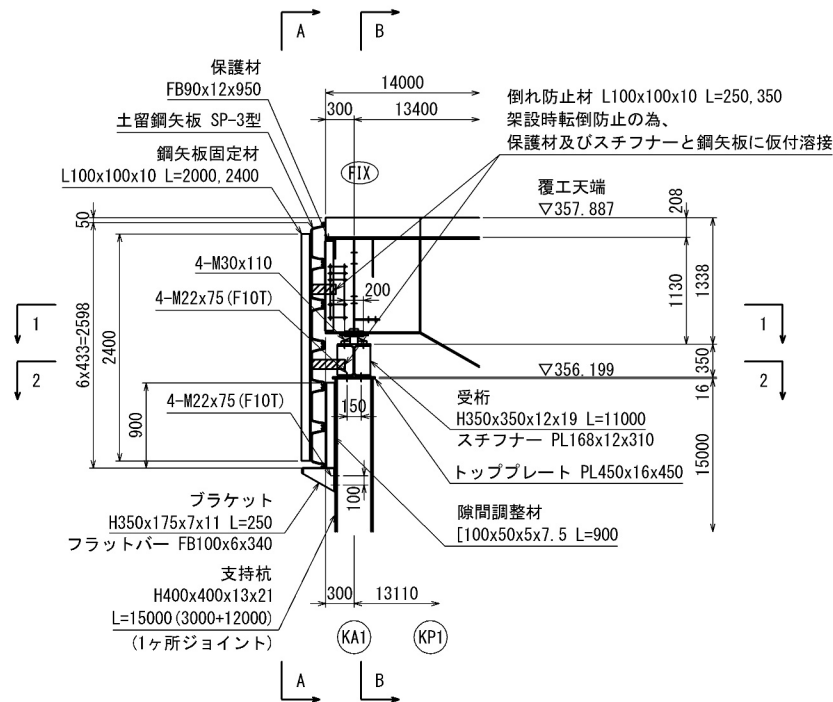
B-B 断面図 S=1:80



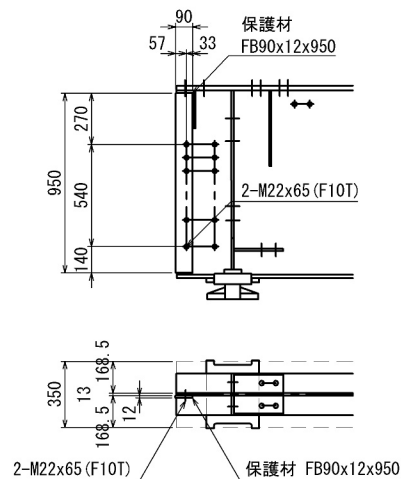
平面図 S=1:80



側面図 S=1:80



保護材詳細図 S=1:40



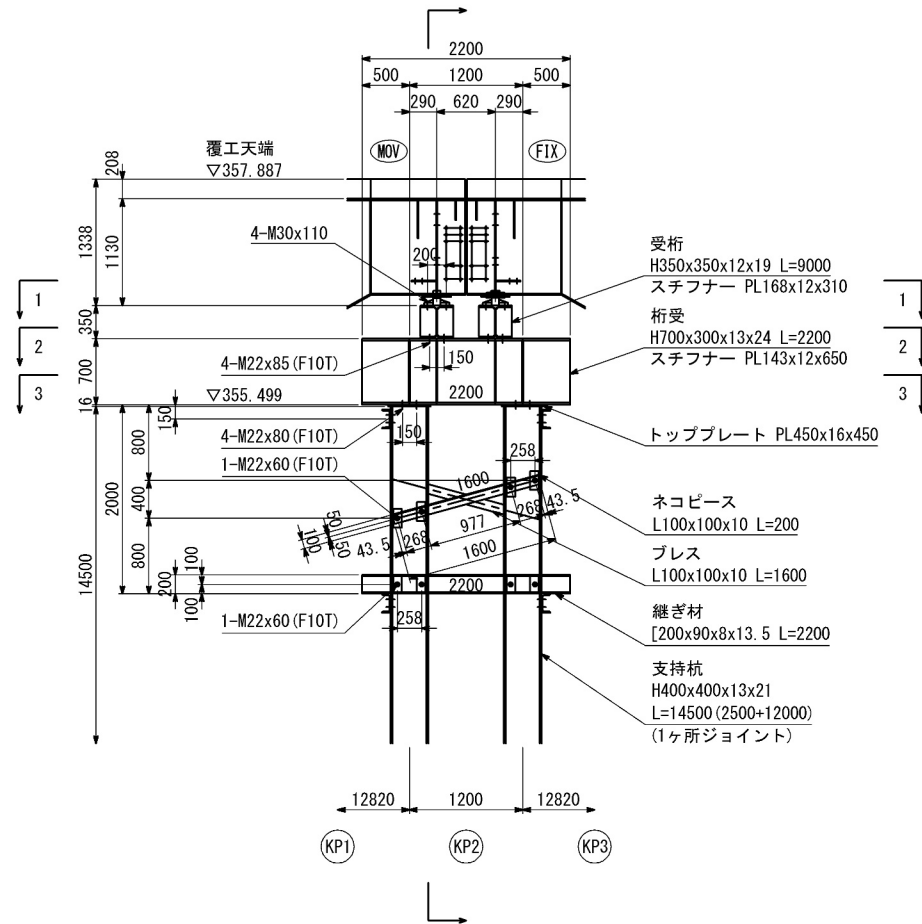
道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (19)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

# 撤去工 詳細図 (20)

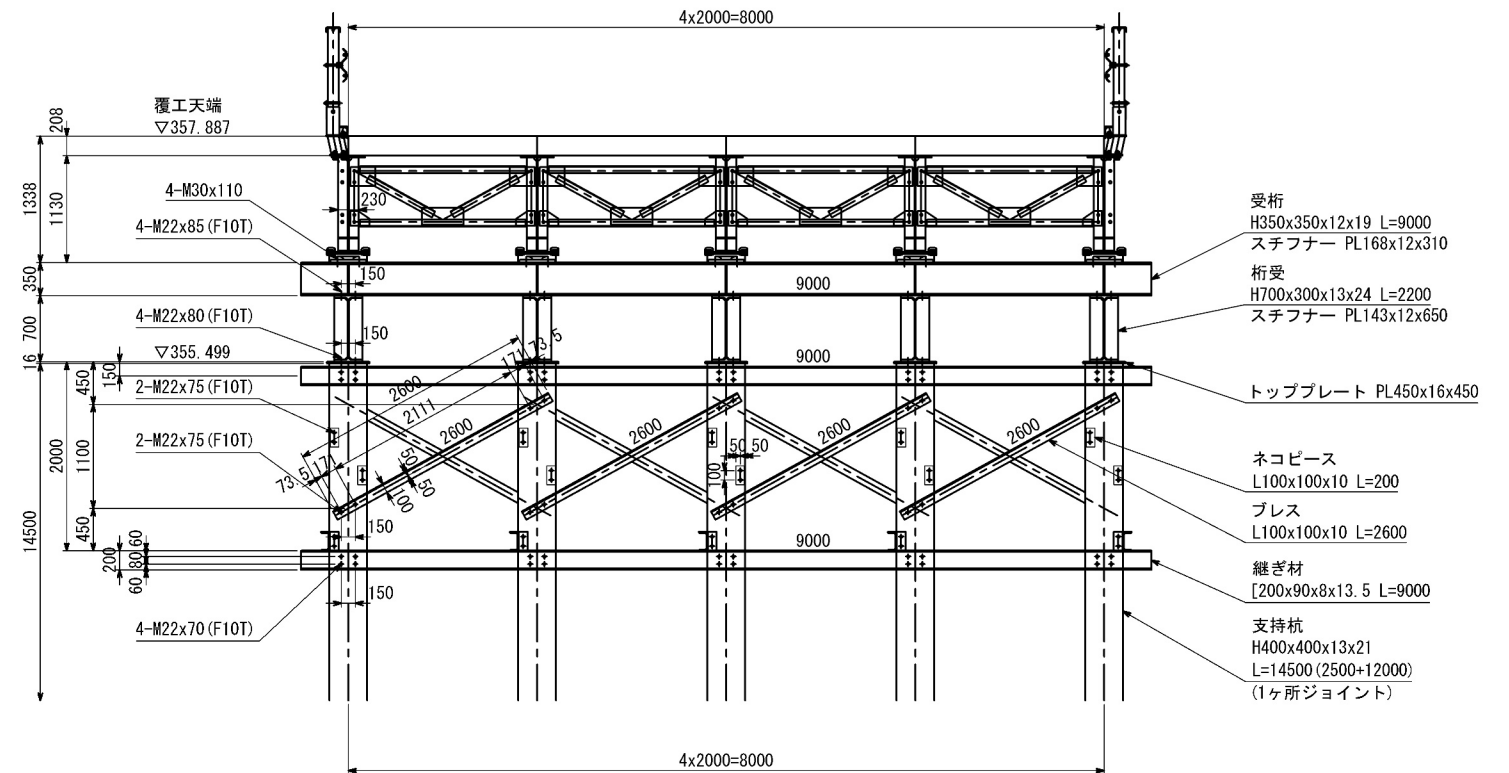
仮栈橋E 下部工詳細図 (2)  
(本流鷗川第二橋)

< KP1・KP2 >

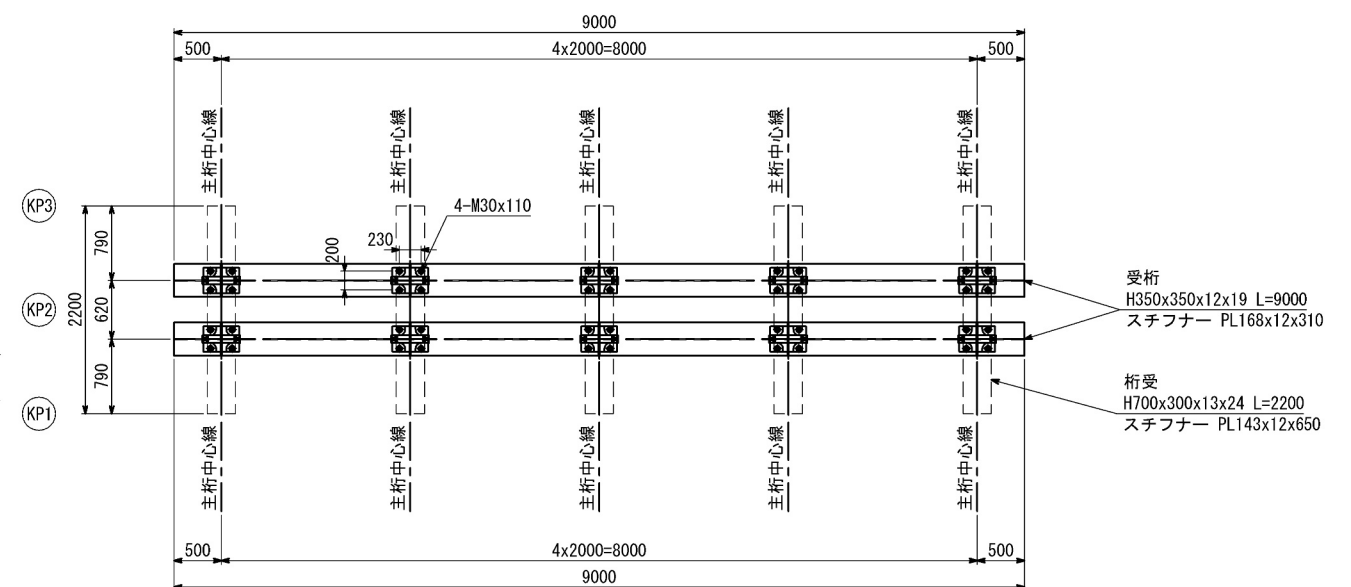
側面図 S=1:80



断面図 S=1:80



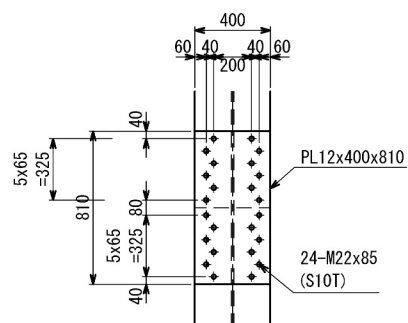
1-1 平面図 S=1:80



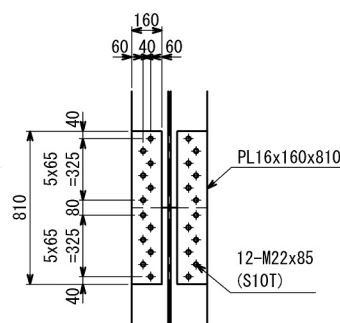
支持杭接合部詳細図 S=1:40

( H400x400x13x21 )

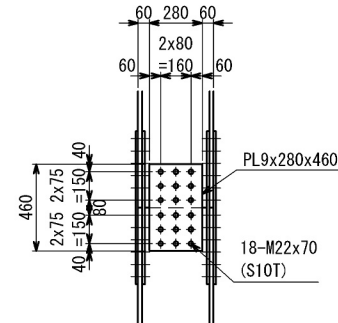
( フランジ外面 )



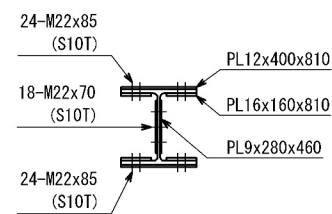
( フランジ内面 )



( ウェブ面 )



( 平面図 )



※ KP2で作図

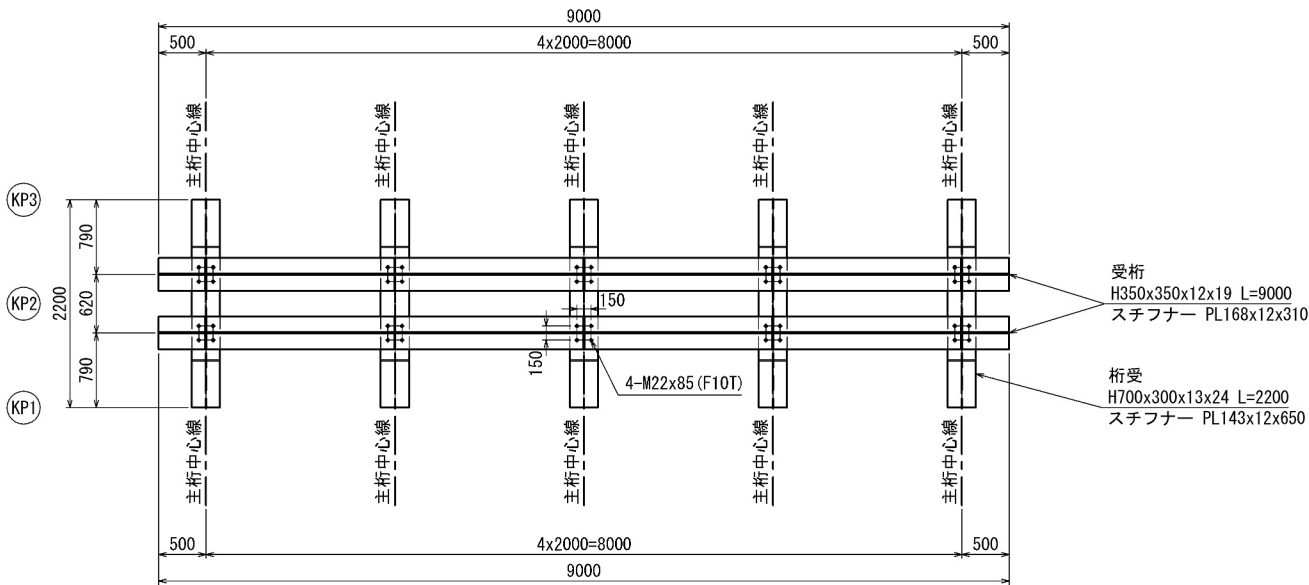
道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (20)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

撤去工 詳細図 (21)

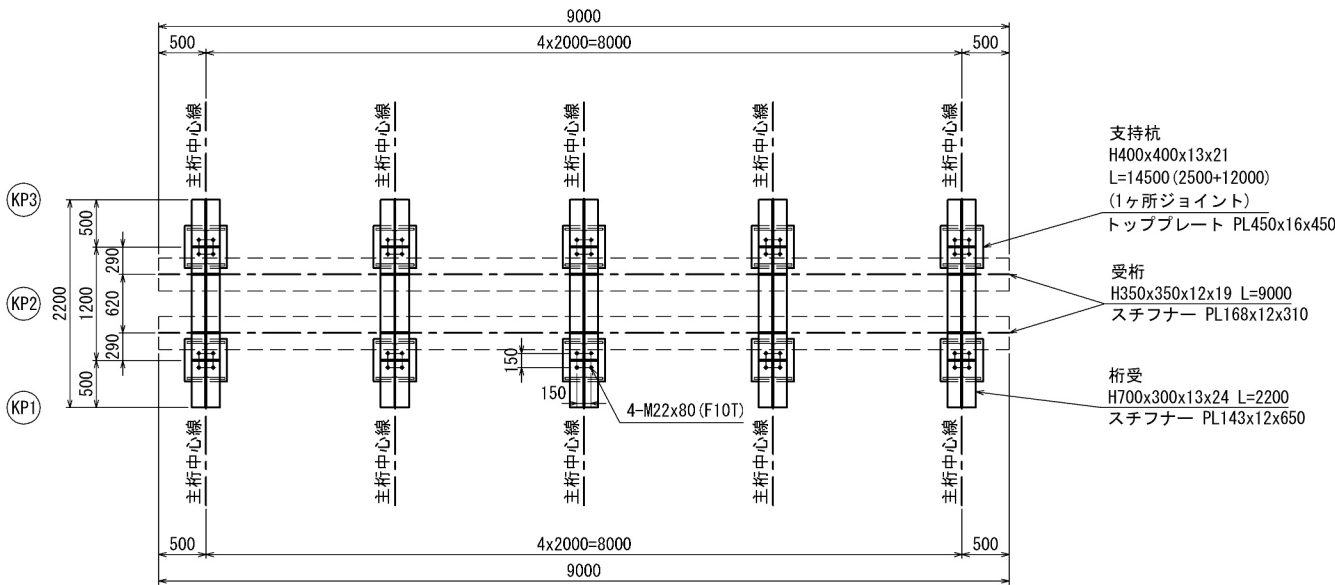
仮栈橋E 下部工詳細図 (3)  
(本流鷗川第二橋)

＜ KP1・KP2 ＞

2-2 平面図 S=1:80



3-3 平面図 S=1:80



※ KP2で作図

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (21)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事				
図面の種類	撤去工 詳細図 (22)			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	株式会社 横濱コンサルティングセンター			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所			

# 撤去工 詳細図 (23)

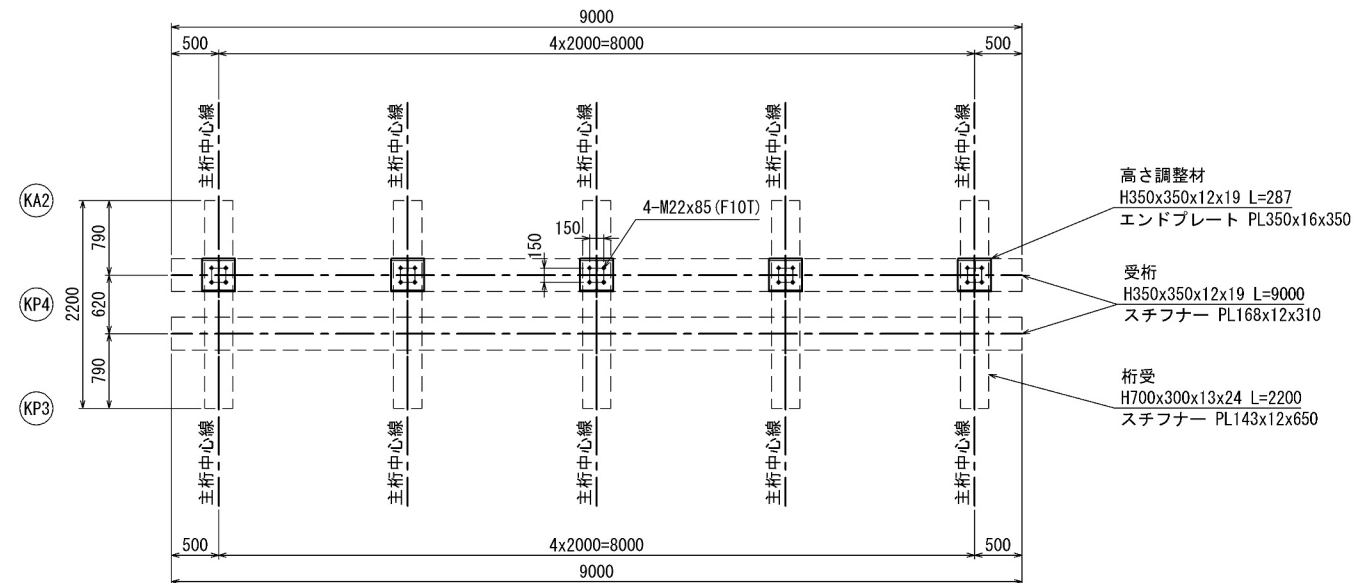
仮栈橋E 下部工詳細図 (5)

(本流鷗川第二橋)

< KP3・KP4 >

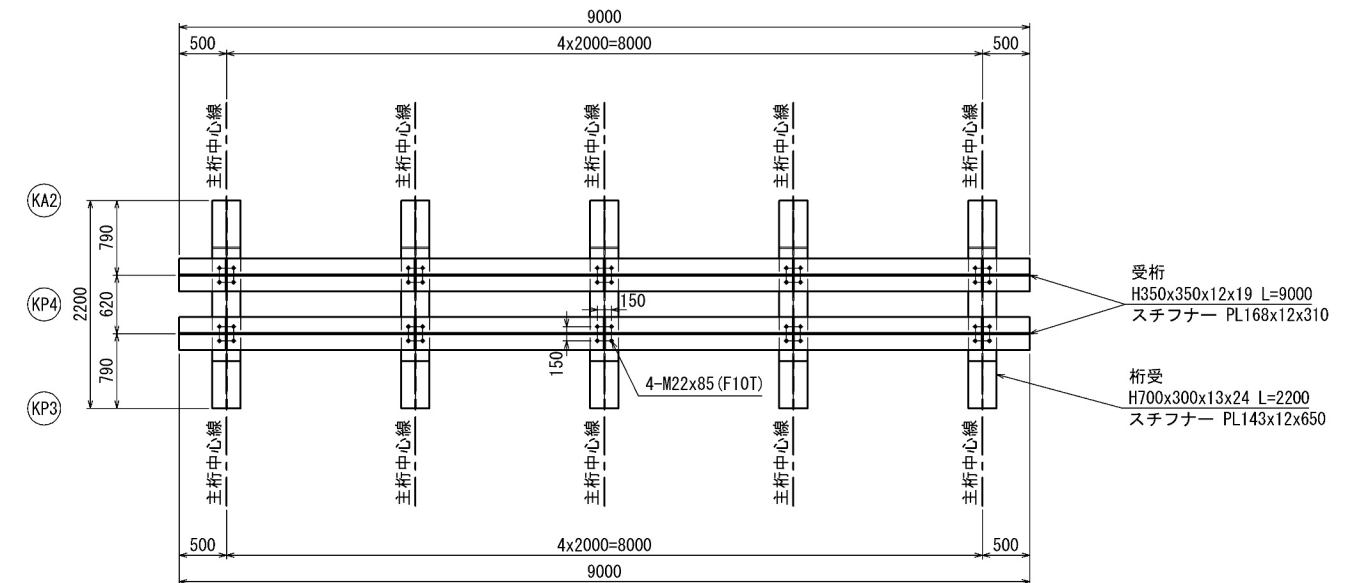
1-1 平面図

S=1:80



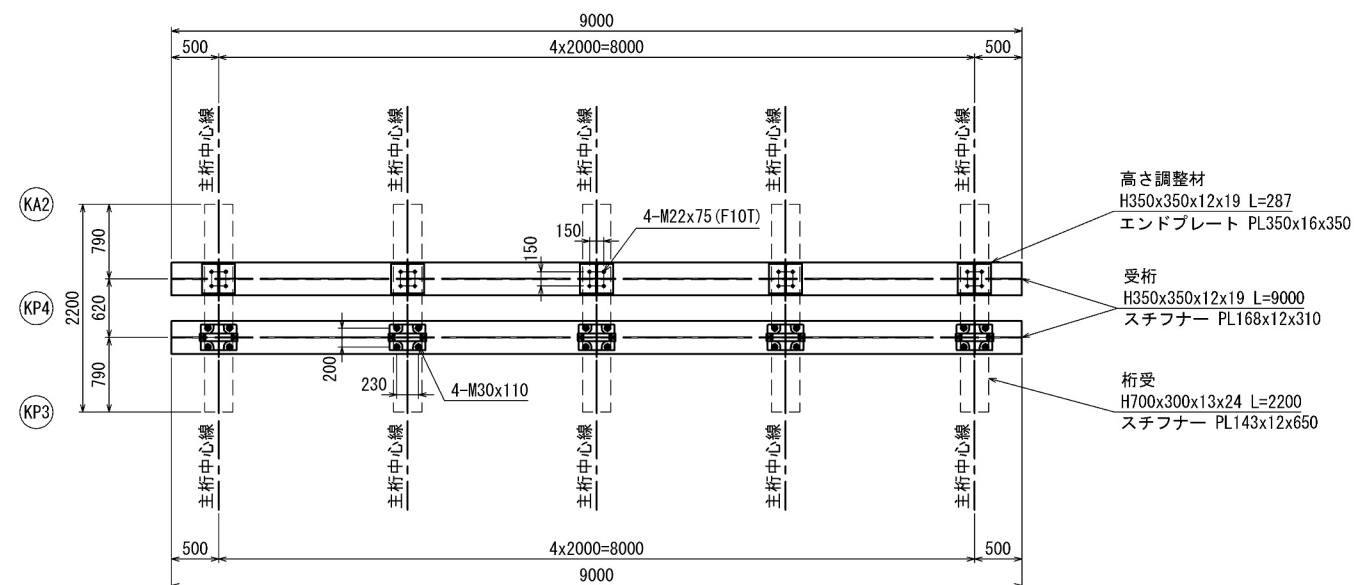
3-3 平面図

S=1:80



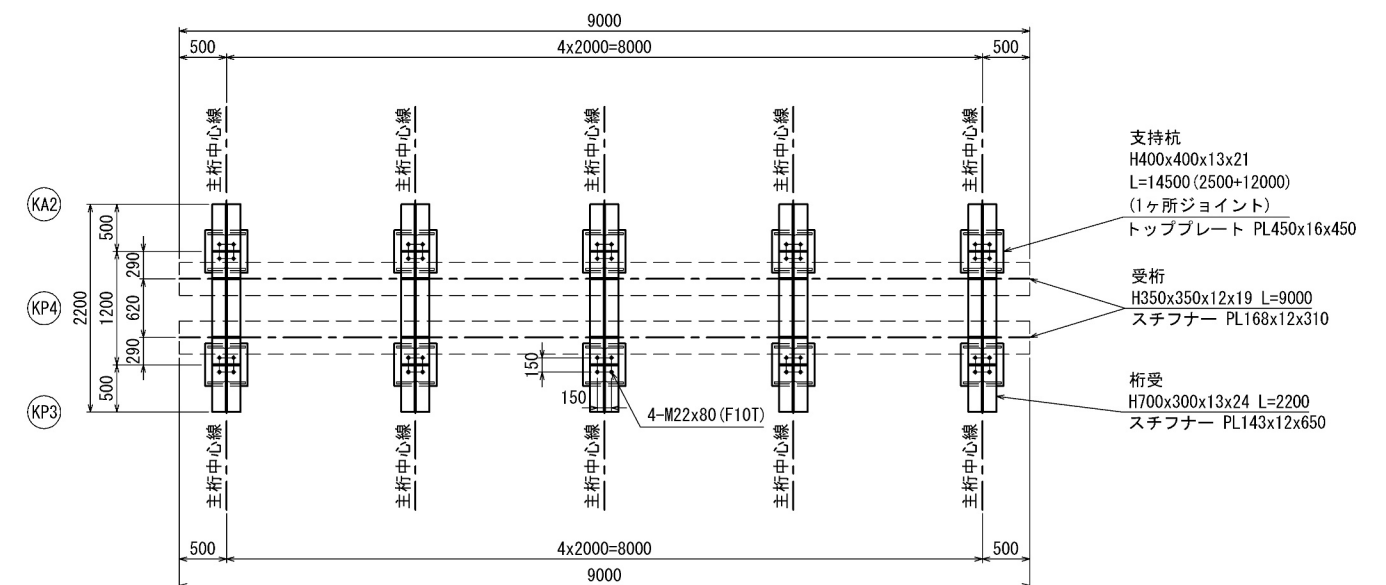
2-2 平面図

S=1:80



4-4 平面図

S=1:80



※ KP4で作図

道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (23)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

# 撤去工 詳細図 (24)

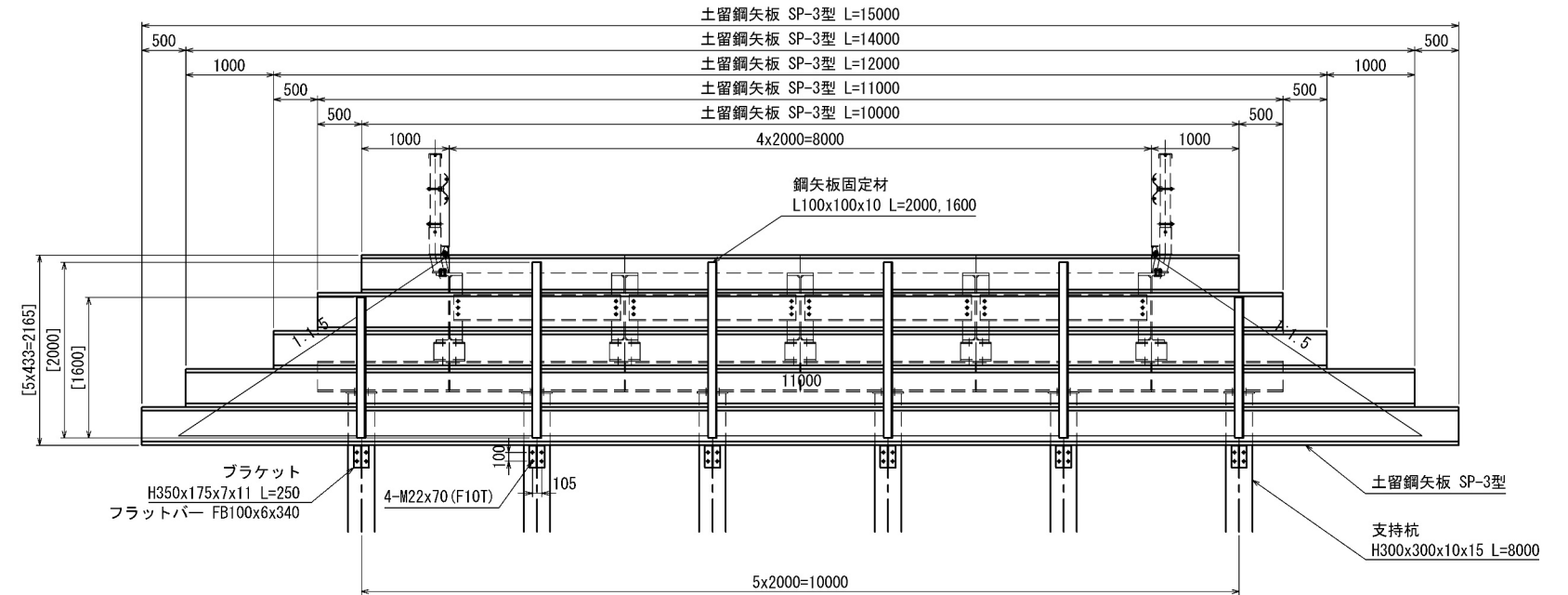
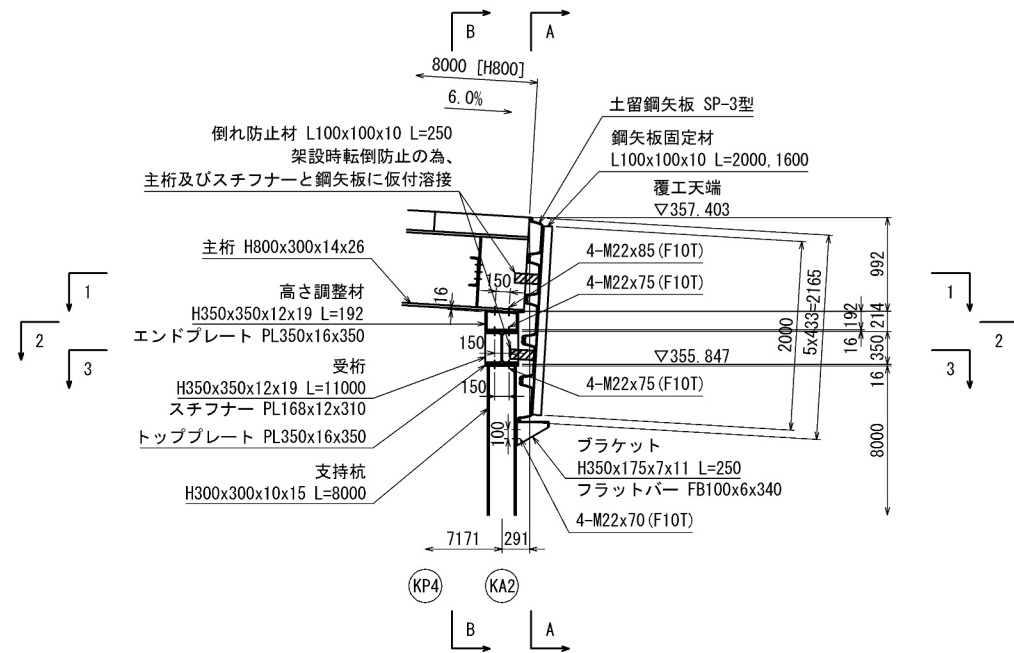
仮栈橋E 下部工詳細図 (6)  
(本流鵜川第二橋)

< KA2 >

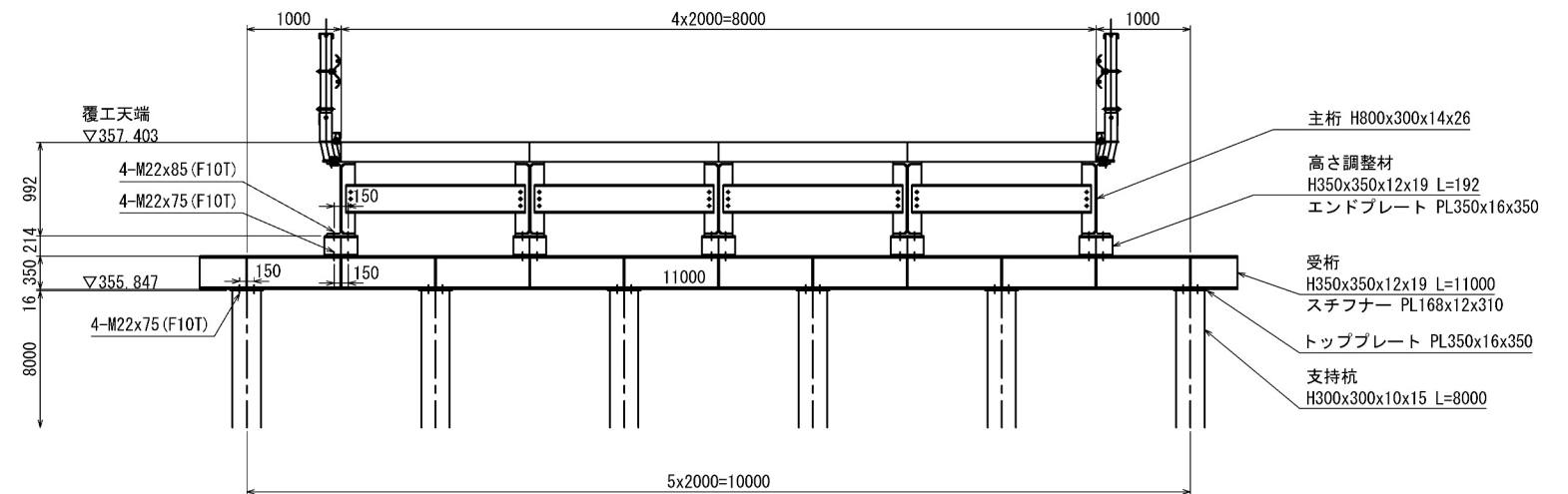
A-A 断面図 S=1:80

※[ ]内の値は斜距離を示す。

側面図 S=1:80



B-B 断面図 S=1:80



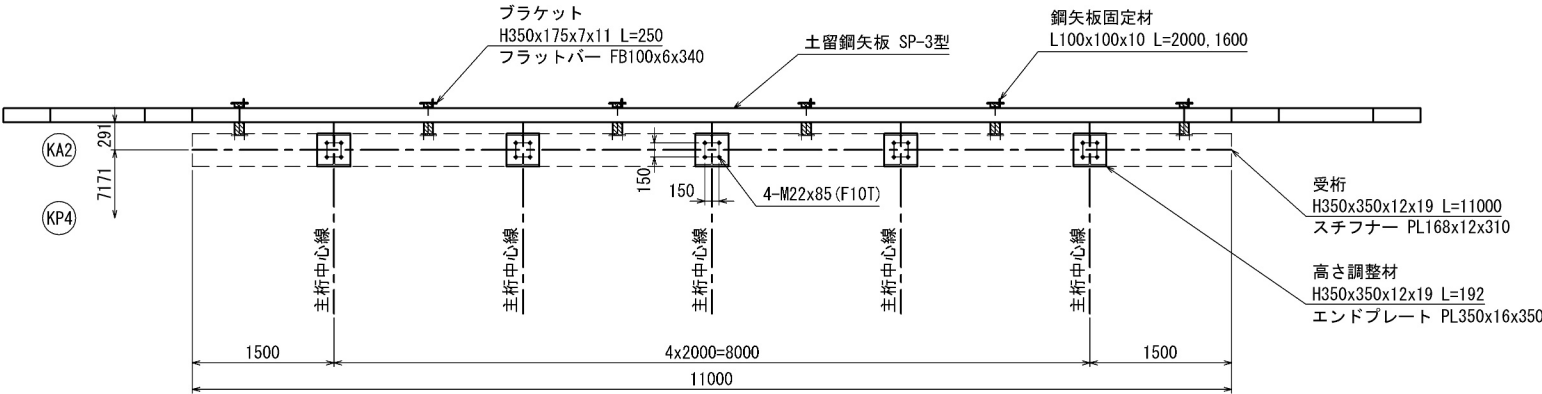
道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (24)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

撤去工 詳細図 (25)

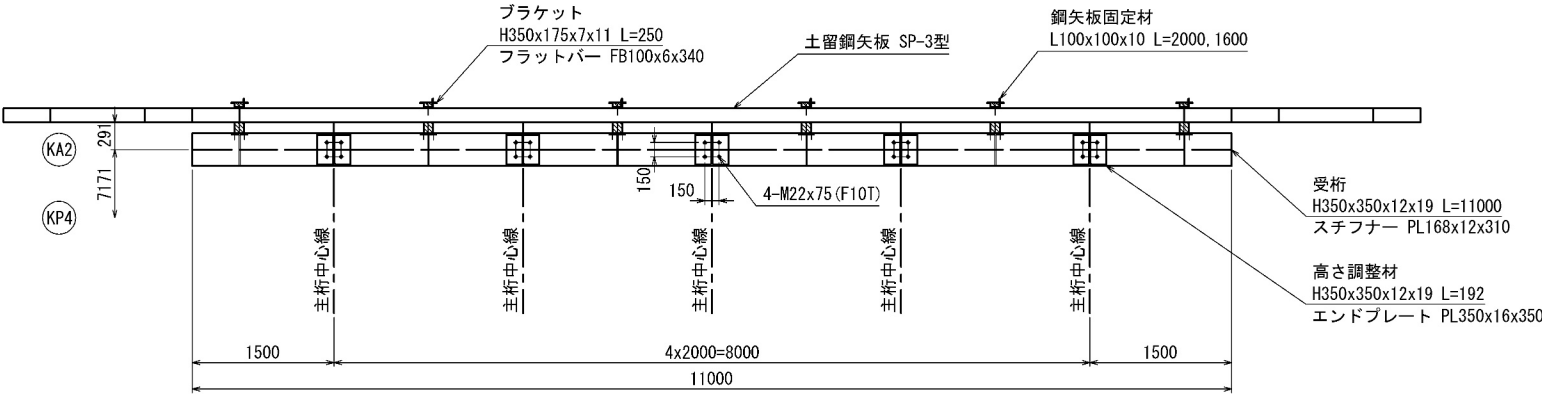
仮栈橋E 下部工詳細図 (7)  
(本流鷗川第二橋)

< KA2 >

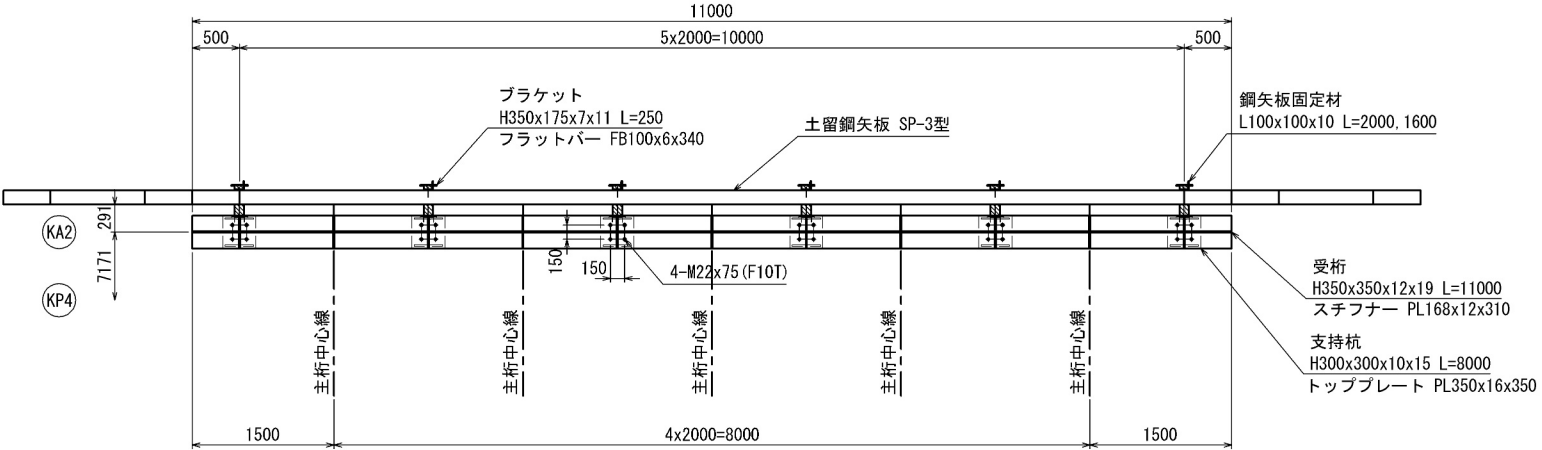
1-1 断面図 S=1:80



2-2 断面図 S=1:80



3-3 断面図 S=1:80



道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (25)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

撤去工 詳細図 (26)

仮栈橋E 数量表 (1)  
(本流鷗川第二橋)

1. 数量総括表

1. 1. 上部工数量表

項目	サイズ	単位	数量
覆工板	1000x2000x208	kg	108,544
		m <sup>2</sup>	512.00m <sup>2</sup>
セーフティーキャップ		kg	102
覆工板締結用ボルト		kg	96
覆工板締結用金具		kg	544
飯桁部材		kg	94,106
主桁	H800×300×14×26	kg	8,280
対傾構	[-300×90×9×13	kg	869
防護柵	B型/1段	kg	3,534
プレート		kg	403
ボルト・ナット	主部材	kg	2,315
	防護柵取付	kg	423
		kg	63
小計質量：			219,279

1. 2. 下部工数量表

項目	サイズ	単位	数量
受桁	H350×350×12×19	kg	12,690
桁受	H700×300×13×24	kg	8,008
高さ調整材	H350×350×12×19	kg	323
継ぎ材	[-200×90×8×13.5	kg	3,939
プレス	L-100×100×10	kg	1,714
ネコピース	L-100×100×10	kg	360
プレート		kg	2,318
ボルト・ナット		kg	648
小計質量：			30,001

1. 3. 杭材数量表

項目	サイズ	単位	数量
支持杭	H400×400×13×21	kg	115,240
支持杭	H300×300×10×15	kg	4,464
プレート		kg	7,037
ボルト・ナット		kg	1,469
小計質量：			128,209

1. 4. 土留数量表

項目	サイズ	単位	数量
鋼矢板	SP-3型	kg	8,460
ブラケット	H350×175×7×11	kg	168
隙間調整材	[-100×50×5×7.5	kg	50
鋼矢板固定材	L-100×100×10	kg	370
倒れ防止材	L-100×100×10	kg	82
保護材	FB-12×90×950	kg	40
ボルト・ナット		kg	33
小計質量：			9,203

2. 上部工数量表

2. 1. 覆工板

品名	記号, 断面	1枚当平米数 (m <sup>2</sup> )	平米数 (m <sup>2</sup> )	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
覆工板	1000x2000x208	2.0	384.0	424.0	192	81,408	落し込み式：補強型 H350用
覆工板	1000x2000x208	2.0	64.0	424.0	32	13,568	締結式 H350用
覆工板	1000x2000x208	2.0	48.0	424.0	24	10,176	落し込み式：補強型 H300用
覆工板	1000x2000x208	2.0	16.0	424.0	8	3,392	締結式 H300用
覆工板 合計質量 (kg)：						108,544	kg
覆工板 合計面積 (m <sup>2</sup> )：						512.00	m <sup>2</sup>

2. 2. セーフティーキャップ

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
セーフティーキャップ	セーフティーキャップ	-	-	0.1	1,024	102	
セーフティーキャップ 合計質量 (kg)：						102	kg

2. 3. 覆工板締結用ボルト

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
ロックボルト		-	-	0.37	160	59	
リナット		-	-	0.06	160	10	
皿バネ座金		-	-	0.03	320	10	
スプリング		-	-	0.04	160	6	
取付ピン		-	-	0.06	160	10	
平ワッシャー		-	-	0.01	160	2	
覆工板締結用ボルト 合計質量 (kg)：						97	kg

2. 4. 覆工板締結用金具

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
スライドロック式金具		-	-	1.7	160	272	
スライド用ブラケット		-	-	1.7	160	272	
覆工板締結用金具 合計質量 (kg)：						544	kg

2. 5. 主部材 (PG型)

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
Ⅱ型端部主桁	BH1589x350x13x19	-	8.000	2091.0	20	41,820	ソールプレート材質：SM400
Ⅱ型端部主桁	BH1589x350x13x19	-	6.000	1619.0	20	32,380	ソールプレート材質：SM400
対傾構 (A)	L75×75×6 L=2.0	-	-	52.0	32	1,664	主桁ピッチ 2.0m 端部
対傾構 (B)	L75×75×6 L=2.0	-	-	60.0	80	4,800	主桁ピッチ 2.0m 中間部
横構 (A)	L130×130×9 L=2.45	-	-	50.0	80	4,000	主桁ピッチ 2.0m
横構 (B)	L130×130×9 L=2.35	-	-	47.0	16	752	主桁ピッチ 2.0m
添接板	PL348x10x1180	-	-	32.0	40	1,280	
添接板	PL180x10x648	-	-	9.0	40	360	
添接板	PL350x18x873	-	-	43.0	20	860	
添接板	PL150x21x873	-	-	22.0	40	880	
地覆	L125×75×7 L=4000	-	-	47.0	18	846	
地覆	L125×75×7 L=2000	-	-	26.0	28	728	
防護柵上越材 (落込)	□130×130×4.5 L=0.3	-	-	22.0	64	1,408	
防護柵上越材 (落込)	□130×130×4.5 L=0.3	-	-	22.0	10	220	H300用
沓座	133x270x400	-	-	43.7	40	1,748	
固定ブロック	68x55x196	-	-	6.0	40	240	
可動ブロック	80x78x92	-	-	3.0	40	120	
主部材 (PG型) 合計質量 (kg)：						94,106	kg

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (26)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		



撤去工 詳細図 (27)

仮栈橋E 数量表 (2)  
(本流鵜川第二橋)

2. 上部工数量表

2. 6. 主桁

品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
主桁	H800×300×14×26	207.00	8.000	1656.0	2	3,312	φ24.5：28 個/本, PL取付：3 枚/本
主桁	H800×300×14×26	207.00	8.000	1656.0	3	4,968	φ24.5：8 個/本, PL取付：6 枚/本
主桁 合計質量(kg)：						8,280	kg

2. 7. 対傾構

品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
対傾構(C)	[-300×90×9×13	38.10	1.900	72.4	12	869	φ24.5：6 個/本
対傾構 合計質量(kg)：						869	kg

2. 8. 主部材(防護柵)

品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	合計	質量 (kg)	備考
防護柵ポスト	φ114.3×4.5 L=1.135	－	－	15.0	74	1,110	
防護柵ビーム (B種)	3.2×350×50×4330	－	－	46.0	18	828	
防護柵ビーム (B種)	3.2×350×50×2330	－	－	25.0	8	200	
防護柵ビーム (B種)	3.2×350×50×1830	－	－	19.0	20	380	
袖ビーム	2.3×356×660	－	－	7.0	20	140	
ブラケット	4.5×70×300	－	－	1.0	74	74	
防護柵当板	PL100×4.5×205	－	－	1.0	74	74	
防護柵笠木	[150×50×3.2 L=4.0	－	－	24.0	18	432	
防護柵笠木	[150×50×3.2 L=2.0	－	－	12.0	8	96	
防護柵笠木	[150×50×3.2 L=1.69	－	－	10.0	20	200	
主部材(防護柵) 合計質量(kg)：						3,534	kg

2. 9. プレート

品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
曲げプレート	PL-287×9×2000	－	－	40.55	4	162	曲げ加工
スチフナー	PL-143×12×746(800S12)	－	－	10.05	24	241	主桁用, φ24.5：3 個/枚
プレート 合計質量(kg)：						403	kg

2. 10. ボルト・ナット (主部材取付用)

品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
ボルトナット	M30×110	－	－	1.19	160	190	沓座取付
ボルトナット	M24×60	－	－	0.32	80	26	ブロック固定
六角トルコン	S10T-M22×115	－	－	0.72	800	576	主桁添接
六角トルコン	S10T-M22×75	－	－	0.60	1,280	768	主桁添接
ハイテンボルト	F10T-M22×85	－	－	0.60	40	24	主桁添接
ハイテンボルト	F10T-M22×65	－	－	0.54	896	484	対傾構取付
ハイテンボルト	F10T-M22×65	－	－	0.54	384	207	横構取付
ドリフトピン	φ24 L=150	－	－	1.00	40	40	
ボルト・ナット (主部材取付用) 合計質量(kg)：						2,315	kg

2. 11. ボルト・ナット (防護柵取付用)

品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	合計	質量 (kg)	備考
ハイテンボルトメッキ	F8T-M22×85G	－	－	0.60	296	178	主桁+上越材
ハイテンボルト	F10T-M20×55	－	－	0.37	148	55	上越材+地覆
ボルトナット	M20×150	－	－	0.53	74	39	上越材+防護柵支柱
ボルトナット	M20×150	－	－	0.53	74	39	防護柵支柱+当板
ボルトナット	M20×150	－	－	0.53	74	39	防護柵支柱+ブラケット
ボルトナット	M16×35	－	－	0.14	372	52	ビーム取付
ボルトナット	M16×35	－	－	0.14	148	21	防護柵支柱+笠木
ボルト・ナット (防護柵取付用) 合計質量(kg)：						423	kg

2. 上部工数量表

2. 12. ボルト・ナット

品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
ハイテンションボルト	F10T-M22× 65	－	－	0.54	72	39	対傾構+スチフナー
ハイテンションボルト	F10T-M22× 85	－	－	0.60	40	24	主桁(H800)+高さ調整材
ボルト・ナット 合計質量(kg)：						63	kg

3. 下部工数量表

3. 1. 受桁

品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
受桁	H350×350×12×19	135.00	11.000	1485.0	1	1,485	φ24.5：24 個/本, PL取付：22 枚/本 φ32：20 個/本
受桁	H350×350×12×19	135.00	9.000	1215.0	7	8,505	φ24.5：20 個/本, PL取付：10 枚/本 φ32：20 個/本
受桁	H350×350×12×19	135.00	9.000	1215.0	1	1,215	φ24.5：40 個/本, PL取付：10 枚/本
受桁	H350×350×12×19	135.00	11.000	1485.0	1	1,485	φ24.5：44 個/本, PL取付：22 枚/本
受桁 合計質量(kg)：						12,690	kg

3. 2. 桁受

品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
桁受	H700×300×13×24	182.00	2.200	400.4	20	8,008	φ24.5：16 個/本, PL取付：8 枚/本
小計質量(kg)：							
桁受 合計質量(kg)：						8,008	kg

3. 3. 高さ調整材

品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
高さ調整材	H350×350×12×19	135.00	0.287	38.7	5	194	PL取付：2 枚/本 L=266～287mm
高さ調整材	H350×350×12×19	135.00	0.192	25.9	5	130	PL取付：2 枚/本 L=171～192mm
高さ調整材 合計質量(kg)：						324	kg

3. 4. 継ぎ材

品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
継ぎ材(橋軸方向)	[-200×90×8×13.5	30.30	2.200	66.7	10	667	φ24.5：4 個/本
継ぎ材(橋軸直角方向)	[-200×90×8×13.5	30.30	9.000	272.7	12	3,272	φ24.5：20 個/本
継ぎ材 合計質量(kg)：						3,939	kg

3. 5. プレス

品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
プレス(橋軸方向)	L-100×100×10	14.90	1.600	23.8	20	476	φ24.5：4 個/本
プレス(橋軸直角方向)	L-100×100×10	14.90	2.600	38.7	32	1,238	φ24.5：4 個/本
プレス 合計質量(kg)：						1,714	kg

3. 6. ネコピース

品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
ネコピース(継ぎ材用)	L-100×100×10	14.90	0.200	3.0	40	120	φ24.5：3 個/本
ネコピース(プレス用)	L-100×100×10	14.90	0.200	3.0	80	240	φ24.5：3 個/本
ネコピース 合計質量(kg)：						360	kg

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工 詳細図(27)		
縮 尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

撤去工 詳細図 (28)

仮栈橋E 数量表 (3)  
(本流鵜川第二橋)

3. 下部工数量表

3. 7. プレート

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
スチフナー	PL-168×12×310 (350S)	-	-	4. 91	124	609	受桁用
スチフナー	PL-143×12×650 (700S12)	-	-	8. 76	160	1, 402	桁受用
エンドプレート	PL-350×16×350	-	-	15. 39	20	308	高さ調整材用, φ24. 5 : 4 個/枚
プレート 合計質量 (kg) :						2, 319	kg

3. 8. ボルト・ナット

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
ハイテンションボルト	F10T-M22× 75	-	-	0. 57	40	23	高さ調整材+受桁
ハイテンションボルト	F10T-M22× 85	-	-	0. 60	160	96	受桁+桁受
ハイテンションボルト	F10T-M22× 75	-	-	0. 57	48	27	受桁+支持杭
ハイテンションボルト	F10T-M22× 80	-	-	0. 59	160	94	桁受+支持杭
ハイテンションボルト	F10T-M22× 70	-	-	0. 56	240	134	支持杭+継ぎ材
ハイテンションボルト	F10T-M22× 75	-	-	0. 57	128	73	支持杭+プレス
ハイテンションボルト	F10T-M22× 60	-	-	0. 53	40	21	継ぎ材+ネコピース
ハイテンションボルト	F10T-M22× 60	-	-	0. 53	80	42	プレス+ネコピース
ハイテンションボルト	F10T-M22× 75	-	-	0. 57	240	137	支持杭+ネコピース
ボルト・ナット 合計質量 (kg) :						647	kg

4. 杭材数量表

4. 1. 支持杭

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
支持杭	H400×400×13×21	172. 00	12. 000	2064. 0	6	12, 384	ジョイント部、φ24. 5 : 33 個/本
支持杭	H400×400×13×21	172. 00	3. 000	516. 0	6	3, 096	ジョイント部、φ24. 5 : 33 個/本
支持杭	H400×400×13×21	172. 00	12. 000	2064. 0	40	82, 560	ジョイント部、φ24. 5 : 33 個/本
支持杭	H400×400×13×21	172. 00	2. 500	430. 0	40	17, 200	ジョイント部、φ24. 5 : 33 個/本
支持杭 合計質量 (kg) :						115, 240	kg

4. 2. 支持杭

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
支持杭	H300×300×10×15	93. 00	8. 000	744. 0	6	4, 464	
支持杭 合計質量 (kg) :						4, 464	kg

4. 3. プレート

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
トッププレート	PL-450×16×450	-	-	25. 43	46	1, 170	φ24. 5 : 4 個/枚, 支持杭 (H400)
トッププレート	PL-350×16×350	-	-	15. 39	6	92	φ24. 5 : 4 個/枚, 支持杭 (H300)
ジョイントプレート	PL-400×12×810 (H400)	-	-	30. 52	80	2, 442	φ24. 5 : 24 個/枚, 支持杭 (H400)
ジョイントプレート	PL-160×16×810 (H400)	-	-	16. 28	160	2, 605	φ24. 5 : 12 個/枚, 支持杭 (H400)
ジョイントプレート	PL-280×9×460 (H400)	-	-	9. 10	80	728	φ24. 5 : 18 個/枚, 支持杭 (H400)
プレート 合計質量 (kg) :						7, 037	kg

4. 4. ボルト・ナット

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
トルシアボルト	S10T-M22× 70	-	-	0. 52	720	374	支持杭 (H400) + ジョイント
トルシアボルト	S10T-M22× 85	-	-	0. 57	1, 920	1, 094	支持杭 (H400) + ジョイント
ボルト・ナット 合計質量 (kg) :						1, 468	kg

5. 土留数量表

5. 1. 鋼矢板

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
土留鋼矢板	SP-3型	60. 00	8. 000	480. 0	2	960	
土留鋼矢板	SP-3型	60. 00	10. 000	600. 0	2	1, 200	
土留鋼矢板	SP-3型	60. 00	11. 000	660. 0	2	1, 320	
土留鋼矢板	SP-3型	60. 00	12. 000	720. 0	1	720	
土留鋼矢板	SP-3型	60. 00	13. 000	780. 0	1	780	
土留鋼矢板	SP-3型	60. 00	14. 000	840. 0	2	1, 680	
土留鋼矢板	SP-3型	60. 00	15. 000	900. 0	2	1, 800	
鋼矢板 合計質量 (kg) :						8, 460	kg

5. 2. ブラケット

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
ブラケット	H350×175×7×11	49. 40	0. 250	12. 4	12	149	φ24. 5 : 4 個/本, PL取付 : 1 枚/本 斜め切断あり
フラットバー	FB-100×6×340	-	-	1. 6	12	19	
ブラケット 合計質量 (kg) :						168	kg

5. 3. 隙間調整材

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
隙間調整材	[-100×50×5×7. 5	9. 36	0. 900	8. 4	6	50	
隙間調整材 合計質量 (kg) :						50	kg

5. 4. 鋼矢板固定材

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
鋼矢板固定材	L-100×100×10	14. 90	1. 600	23. 8	2	48	
鋼矢板固定材	L-100×100×10	14. 90	2. 000	29. 8	6	179	
鋼矢板固定材	L-100×100×10	14. 90	2. 400	35. 8	4	143	
鋼矢板固定材 合計質量 (kg) :						370	kg

5. 5. 倒れ防止材

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
倒れ防止材	L-100×100×10	14. 90	0. 250	3. 7	15	56	
倒れ防止材	L-100×100×10	14. 90	0. 350	5. 2	5	26	
倒れ防止材 合計質量 (kg) :						82	kg

5. 6. 保護材

品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
保護材	FB-12×90×950	-	-	8. 05	5	40	φ24. 5 : 2 個/枚
保護材 合計質量 (kg) :						40	kg

5. 7. ボルト・ナット

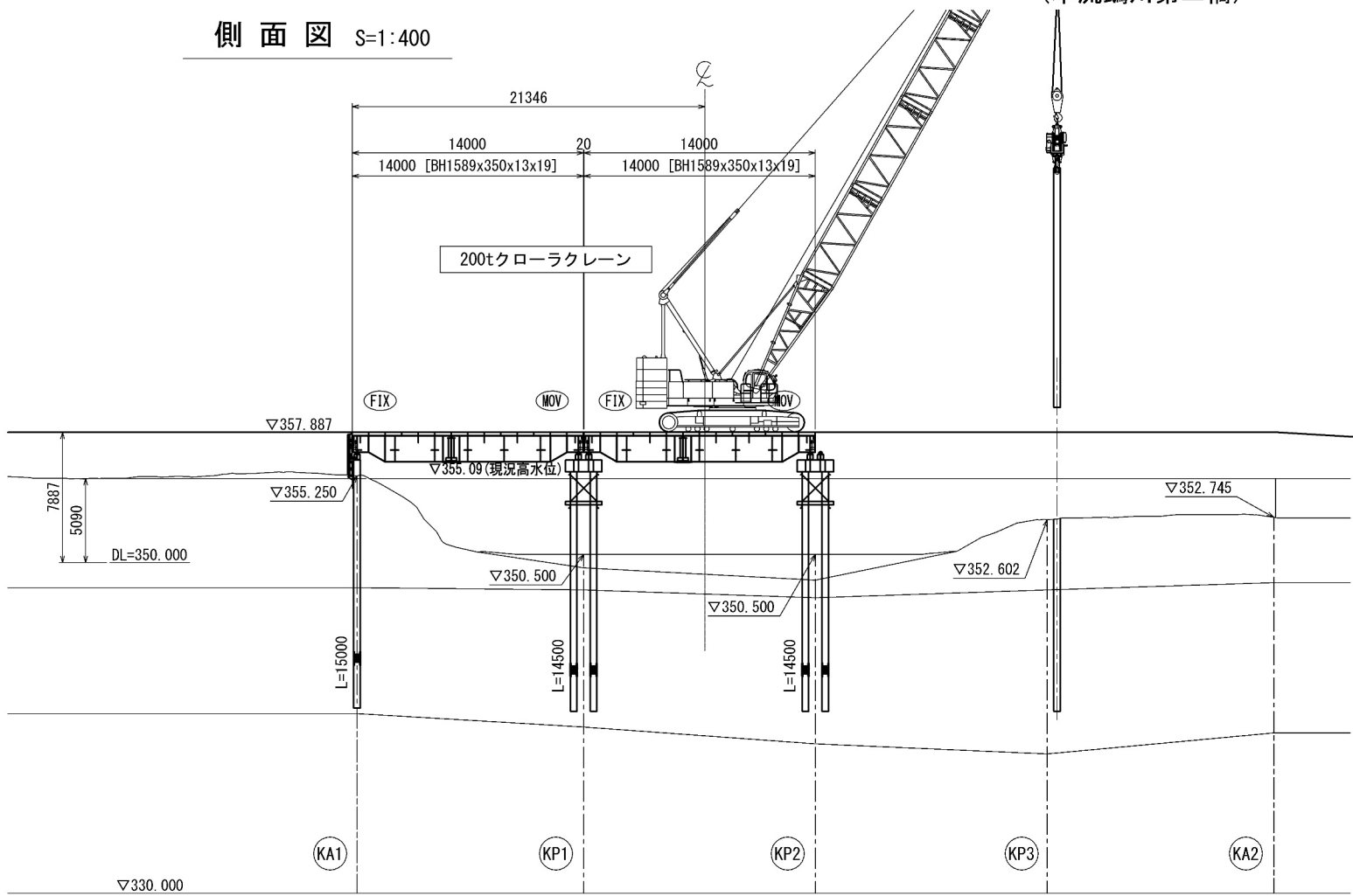
品名	記号, 断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	単品質量 (kg)	数量	質量 (kg)	備考
ハイテンションボルト	F10T-M22× 65	-	-	0. 54	10	5	保護材+PG主桁
ハイテンションボルト	F10T-M22× 75	-	-	0. 57	24	14	ブラケット+支持杭 (H400)
ハイテンションボルト	F10T-M22× 70	-	-	0. 56	24	13	ブラケット+支持杭 (H300)
ボルト・ナット 合計質量 (kg) :						32	kg

道 東 自 動 車 道 占 冠 P A 工 事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (28)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯 広 工 事 事 務 所		

撤去工 詳細図 (29)

仮棧橋E 施工計画図  
(本流鵠川第二橋)

側面図 S=1:400

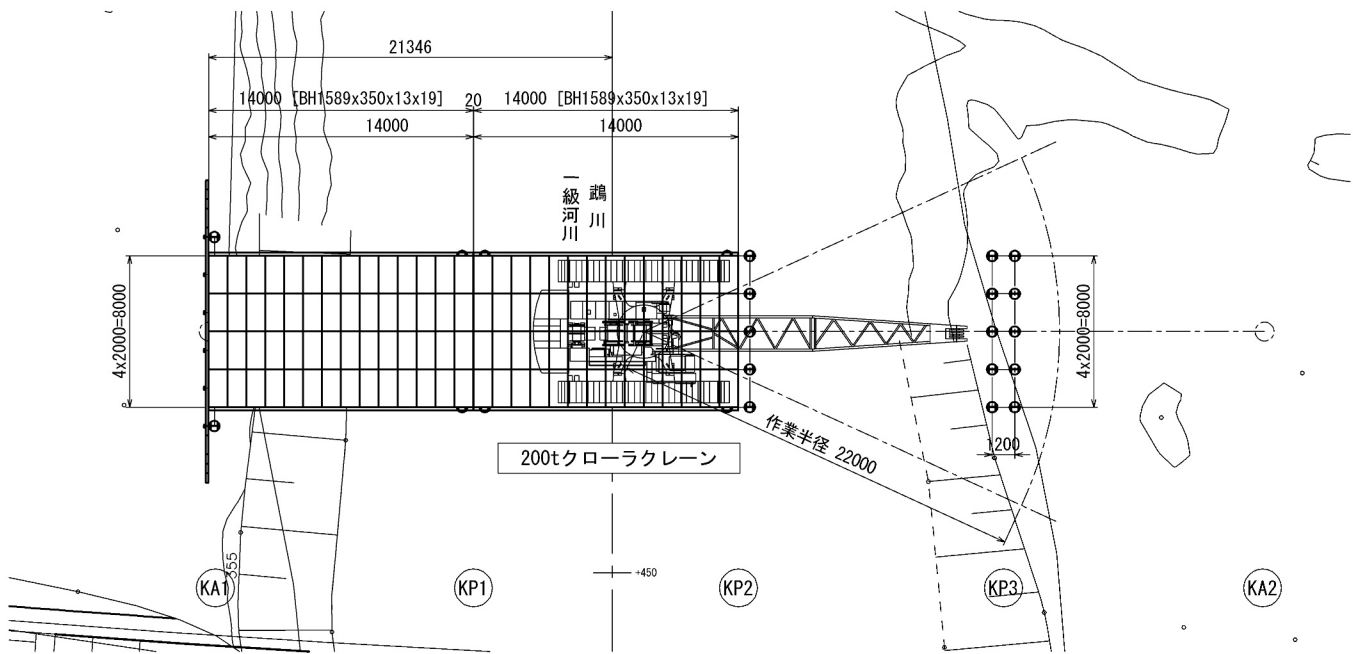


200tクローラークレーン  
主ブーム定格層荷重表 (ヘビートップブーム) (単位: t)

作業半径 (m)	15.25	18.30	21.35	24.40	27.45	30.50	33.50	36.55	39.60	42.65	45.70
4.6	200.0	197.9/	175.0/								
5.0	200.0	5.2	5.7	150.0/	150.0/						
6.0	189.8	189.6	175.0	6.2	6.8	125.0/	125.0/				
7.0	164.1	163.9	163.5	150.0	150.0	7.3	7.8	100.0/	100.0/		
8.0	144.5	144.3	143.9	143.5	143.3	125.0	125.0	8.3	8.9	98.8/	87.5/
9.0	129.0	128.8	128.4	128.0	127.8	125.0	123.1	100.0	100.0	9.4	9.9
10.0	116.5	116.3	115.8	115.5	115.2	114.8	114.6	100.0	100.0	96.7	87.5
12.0	90.7	90.6	90.4	90.2	90.0	89.8	89.6	89.6	89.4	89.2	85.3
14.0	72.1	73.0	72.7	72.5	72.3	72.1	71.9	71.8	71.6	71.4	71.3
16.0	63.7/	61.0	60.7	60.4	60.2	60.0	59.8	59.7	59.4	59.2	59.1
18.0	14.8	53.3/	52.4	52.1	51.4	51.2	50.8	50.8	50.5	50.3	50.2
20.0		17.5	45.7	45.3	45.1	44.5	44.2	44.1	43.8	43.6	43.4
22.0			45.4/	40.0	39.7	39.6	39.0	38.8	38.5	38.3	38.1
24.0			20.1	38.4/	35.4	35.3	35.1	34.6	34.3	34.0	33.9
26.0				22.7	32.8/	31.7	31.5	31.5	30.8	30.5	30.3
28.0					25.4	28.7	28.5	28.5	28.2	27.6	27.4
30.0							26.0	25.9	25.7	25.5	25.3
32.0							25.2/	23.7	23.5	23.3	23.1
34.0							30.7	22.5/	21.6	21.4	21.2
36.0								33.3	20.0/	19.7	19.5
38.0									35.9	18.2	18.0
40.0										17.8/	16.7
42.0										38.6	16.0/
44.0											41.2

200 t クローラークレーン  
作業半径 R=22.000m  
最大吊荷重 22.0t (杭引抜時)  
定格荷重 38.3t  
ブーム長さ 42.65m  
吊荷重 22.0t < 定格荷重 38.3t OK

平面図 S=1:400



道東自動車道 占冠PA工事			
図面の種類	撤去工 詳細図 (29)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 横浜コンサルティングセンター		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		